デジタルカメラ 保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

形名	HDC-502形	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒　-	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　-	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   （ニ）車輌、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   （ホ）業務用に使用されて生じた故障または損傷。
   （ヘ）本書のご提示がない場合。
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはP121のご相談窓口にお問い合わせください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはP121のご相談窓口にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
- このデジタルカメラの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後３年です。
- 補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL. 03(3260)9611
FAX.03(3260)9739

Hitachi Living Systemsは日立リビングサプライの英文社名です。

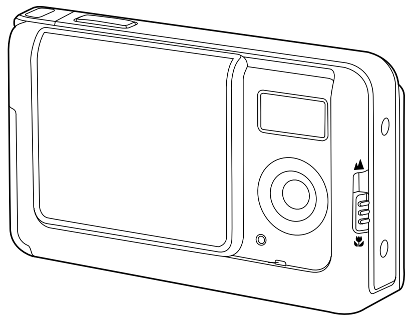
取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

デジタルカメラ
HDC-502形

このたびは、デジタルカメラ「HDC-502」をお求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



クイックスタートガイド
「とにかく使ってみる」 P122

I.mega

目次

はじめに 4

■安全上のご注意 4
■あらかじめご承知頂きたいこと 8
■使用上のご注意 9
■商品概要 13
■同梱品 14
■各部の名称 15
■液晶モニターの表示 20

基本操作編 23

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する 24
■電池を入れる 24
■電源のオン／オフ 26
■日付／時刻を合わせる 28
■SDメモリーカードを使う場合 30
■初期設定に戻す 32
静止画／動画を撮る 34
■静止画を撮る 34
■ストロボを使う 36
■ズームを使う 38
■近距離撮影をする 39
■動画を撮る 40
静止画／動画を見る 43
画像を消去する 47

応用操作編 53

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。

準備について 54
■表示言語を設定する 54
■操作音のオン／オフを設定する 56
■オートパワーオフ(オートオフ)の時間を設定する 57
■プレビューのオン／オフを設定する 59
撮影（静止画／動画）について 60
■画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する 60
■シーンモードを設定する 64
■露出（明るさ）補正を設定する 66
■ホワイトバランス（Wバランス）を設定する 67
■ISO感度(明撮像感度)を設定する 68
■色効果を設定する 69
■彩度を設定する 70
■シャープネスを設定する 71
■セルフタイマーで撮る 72
■日付プリントを設定する 74
再生（静止画／動画）について 75
■内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーする（コピー to SDカード機能） 75
■スライドショー再生をする 77
■画像プロテクトを設定する 79
消去について 83
■フォーマットする 83

パソコン接続編 85

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

■パソコンの動作環境を確認する 86
■パソコンと接続する場合の流れ 86
1 カメラとパソコンを接続する 87
2 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続） 90
3 カメラを取り外すときは 93

プリント（印刷）編 95

PictBridge（ピクトブリッジ）に対応したプリンタに直接接続して、撮影した画像をプリントする方法について説明します。

付録 101

■故障とお考えになる前に 102
■仕様 114
■ メニュー項目と設定内容 116
■ メモリ（SDメモリーカード）内のフォルダ構造 118
■ サービス／ご相談窓口 121
■ **クイックスタートガイド** 122

はじめに

■ 安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろ絵表示しています。その表示と意味は次の内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
⚠	このような絵表示は、していただきたい「注意」内容です。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警　告

異常が起きたら、電池を外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

移動しながらの撮影は絶対にしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの使用はしないでください。転倒、交通事故などの原因になります。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら電池を外す。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。
火災・感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

火に近づけたり、火の中に投げ込まない。
破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。または指定外の電池を使用しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

⚠ 警　告

アルカリ電池に注意する。
アルカリ電池のアルカリ液が目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。失明やけがの原因になります。

電池を分解、加工、加熱しない。電池を落としたり、衝撃を加えない。
アルカリ電池は充電しない。
電池を金属製品と一緒に保管しない。
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の方法で電池を使用しない。
電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

お子様の手の届かないところで使用・保管する。
乳幼児が誤って電池を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

落下などにより、ストロボ部分が破損した場合は、内部には触れない。
内部が露出した場合は、絶対に手を触れないでください。感電の原因になります。
●お買上げ店にご相談ください。

ストロボを人の目に近づけて発光しない。
目の近くでストロボを発光すると、視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影する場合は1m以上離れてください。

⚠ 注　意

コネクタ（端子）部には、指定以外のものを接続しない。
火災・感電の原因になります。

大切な画像は、パソコンに取り込み保管する。
電池の消耗や故障・修理などにより、撮影した画像が消えることがあります。

飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない。
事故の原因になることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
暖房器具の近く、ホットカーペットの上、窓を閉めきった自動車の中や、直接日光に当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

本製品の上にものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ストロボの発光部を手や布で覆ったまま発光しない。
故障の原因になります。また、連続発光後は発光部に触らないでください。やけどの原因になる場合があります。

カメラをネックストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する。
けがや本体の故障の原因になります。

■ あらかじめご承知頂きたいこと

免責事項

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。
- 万一、本機または付属のソフトウェア使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリ内容の消去による、損害及び逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承下さい。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

商標について

- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDロゴは登録商標です。
- QuickTimeは、ライセンスに基づいて使用される商標です。QuickTimeは、米国およびその他の国々で登録された商標です。
- その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中には™、®マークは明記しておりません。

■ 使用上のご注意

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0℃～40℃（結露しないこと）です。

急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本製品の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な撮影ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。
また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電池、SDメモリーカード（使用時）をカメラから取り外し、水滴が消えるまで待ってから、お使いください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、画像が正常に記録されていることを確認してください。
本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。
また、単3形マンガン乾電池は使用できません。
万一、このカメラやSDメモリーカード（使用時）などの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償については、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

データエラーについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破損する恐れがありますので、操作にはご注意ください。
  - 通信中にUSBケーブルをはずした。
  - 記録、USB接続中に電池をはずした。
  - 消耗した電池を使用し続けた。
  - 電源オンの状態で、SDメモリーカードを出し入れした。
  - その他の異常動作
- 万一の誤消去や破損に備え、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。

操作音について

撮影時などの各操作時には、電子音で各操作をおしらせします。この操作音のオン／オフは設定することができます。

メンテナンスについて

- レンズ面がゴミなどで汚れていると、カメラの性能が十分に発揮できません。レンズ面の汚れは、ブロアーでゴミやホコリを吹きとってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーやベンジンなどで拭かないでください。本体の塗装がはげたり、変質する原因になります。

液晶モニターについて

- 液晶モニターは、**夜間や暗めの室内撮影時などにおいて、センサーから十分な明るさが確保されない場合は、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。**その場合は、なるべく明るい場所へ移動して撮影してください。
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターにムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 液晶モニターは太陽や強い光が当たると、表示が黒くなることがありますが、故障ではありません。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤、白、青、緑の点が現われたままになる場合があります。これは故障ではありません。記録される画像には影響はありませんので安心してお使いください。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

SDメモリーカードについて

- 本機はSDメモリーカード（別売）を使用できます。（32/64/128/256/512MB/1GB対応）
（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコム、（株）アドテックのSDメモリーカードを推奨します。ご使用の場合は、**SDメモリーカードに付属の取扱説明書をあわせてお読みください。**
- SDメモリーカードの種類によって、処理速度が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードは撮影や消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちる場合があります。定期的に**フォーマットする** P83 ことをおすすめします。
- 静電気、電気的ノイズ等により、記録したデータが消滅または破損することがありますので、大切なデータは別のメディア（MOディスク、ハードディスク、CD-Rなど）へ、バックアップとしてコピーされることをおすすめします。
- SDメモリーカードの接触面（コンタクトエリア）にゴミや異物を付着させないでください。汚れは乾いた柔らかい布などで、軽く拭いてください。

■ 商品概要

本製品は、約500万画素CCDイメージセンサー搭載による高画質はもちろん、スリムサイズを実現し、いつでもどこにでも持ち歩けるデジタルカメラです。
主な特長は以下の通りです。

主な特長

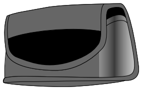
○ 約500万画素CCDイメージセンサー搭載
○ 2.0型LTPS（※1）-TFTカラー液晶モニター搭載
○ 手ぶれ軽減機能 P35
○ 保存も安心の16MB内蔵フラッシュメモリー＆SDメモリーカードスロット搭載（※2） P30
○ PCレスを実現するコピー to SDカード機能 P75
○ 自分撮りにも便利な近距離モード（約60cm〜約100cm）撮影 P39
○ 動画撮影機能 P40
○ スポーツ／夜景／人物／風景／逆光とシーンにあわせて撮影できるシーンモード搭載 P64
○ 白黒やセピア色で雰囲気のある撮影を演出する色効果設定機能 P69
○ 多彩な再生モード
（シングル再生 P43、ズーム再生（2倍/3倍/4倍） P44、インデックス再生（9分割） P45、動画再生 P46、スライドショー再生 P77）
○ ダイレクトプリント可能のPictBridge（ピクトブリッジ）対応
○ すぐに使えるオールインワンパッケージ

（※1）LTPS：低温ポリシリコン
（※2）SDメモリーカードは別売です。

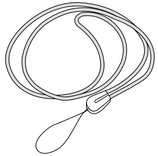
■ 同梱品

以下の通りカメラ本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

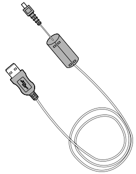
・カメラポーチ



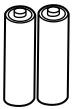
・ネックストラップ



・専用USBケーブル



・単3形アルカリ乾電池



・クリーナー（ペット型）



・取扱説明書

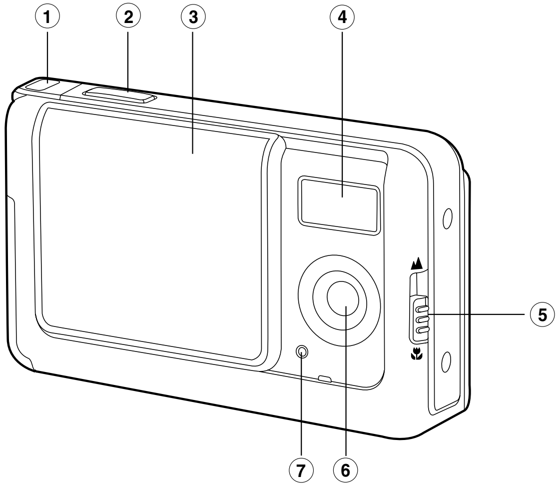


- SDメモリーカードは別売です。**SDメモリーカードを使う場合** P30 **、SDメモリーカードについて** P12
- 以降、この取扱説明書では、専用USBケーブルをUSBケーブルと表記します。

■ 各部の名称

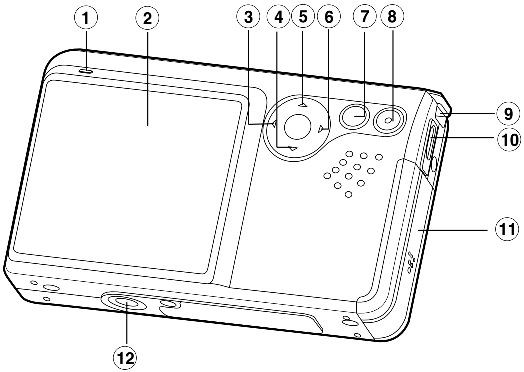
正面

①ネックストラップ取付部
②シャッター
③レンズカバー
④ストロボ
⑤撮影距離切替スイッチ
⑥レンズ
⑦セルフタイマーランプ

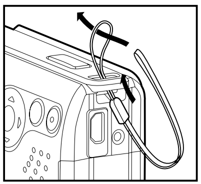


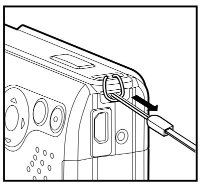
背面

①動作確認用ランプ（グリーン）
②液晶モニター
③セルフタイマーボタン
（【◀】左ボタン）
④モードボタン
（【▼】下ボタン）
⑤メニューボタン
（【▲】上ボタン）
⑥ストロボボタン
（【▶】右ボタン）
⑦OK（ズーム）ボタン
⑧再生ボタン
⑨ネックストラップ取付部
⑩USB端子
⑪電池／メモリーカードカバー
⑫三脚ねじ穴



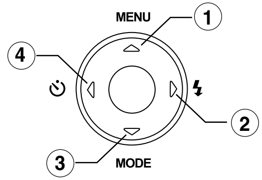
ネックストラップの取付け方





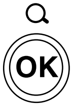
コントロールパネル

コントロールパネルの各ボタンには複数の役割があります。以下の内容をしっかりと確認して操作してください。



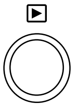
No.	ボタンの名称	機　　能
①	【▲】上ボタン	各メニュー画面で上の項目を選ぶ場合やインデックス再生画面で上の画像を選ぶ場合に使用します。
	MENU（メニュー）ボタン	各モード時に設定可能な項目（メニュー）を表示させます。
②	【▶】右ボタン	各メニュー画面で右の項目を選ぶ場合や再生画面やインデックス再生画面で一つ後（右）の画像を選ぶ場合に使用します。
	ストロボボタン	静止画撮影時にストロボモード（オート／赤目軽減／強制発光／発光禁止）を選ぶ場合に使用します。
③	【▼】下ボタン	各メニュー画面で下の項目を選ぶ場合やインデックス再生画面で下の画像を選ぶ場合に使用します。
	MODE（モード）ボタン	撮影モード（オート／手ぶれ軽減／動画撮影）を切り替える場合に使用します。
④	【◀】左ボタン	各メニュー画面で左の項目を選ぶ場合や再生画面やインデックス再生画面で一つ前（左）の画像を選ぶ場合に使用します。
	セルフタイマーボタン	静止画撮影時にセルフタイマー撮影をする場合に使用します。

OK(🔍ズーム)ボタン



各メニュー画面で決定する場合や、静止画撮影時に**ズーム撮影をする** P38 場合、静止画再生時に**ズーム再生をする** P44 場合に使用します。

▶再生ボタン



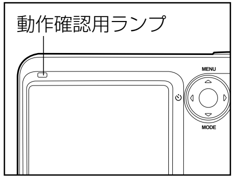
撮影した静止画や動画を再生する場合や、再生モードから撮影モードに戻る場合に使用します。

以降、この取扱説明書では、コントロールパネル、OKボタン、再生ボタンでの操作を次のように表記します。

- コントロールパネルを【▲】【▼】【◀】【▶】方向に押す操作
  - →【▲】【▼】【◀】【▶】を押す
  - →【▲】【▼】【◀】【▶】で選ぶ
- OKボタンを押す操作
  - →OKを押す
- 再生ボタンを押す操作
  - →▶を押す

動作確認用ランプ(グリーン)

動作確認用ランプは本機の状態を点滅や点灯、消灯でお知らせします。

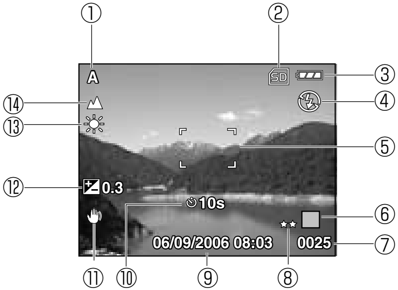


グリーン点滅：撮影スタンバイ中、再生中など

グリーン点灯／消灯：画像記録中、ストロボ充電中など

■ 液晶モニターの表示

静止画撮影モード時　静止画を撮る P34



①静止画撮影モード P35 P64
- オート
- 手ぶれ軽減
- スポーツ
- 夜景
- 人物
- 風景
- 逆光

②メモリー P30
- 内蔵メモリー使用
- SDメモリーカード使用

③電池残量 P25
- 電池の残量は十分です。
- 電池の残量が少なくなっています。
- まもなく電池の残量がなくなります。
- 電池の残量がありません。

④ストロボモード P36
- オート（※オート時は非表示）
- 赤目軽減
- 強制発光
- 発光禁止

⑤フォーカスフレーム P35

⑥画像サイズ P60
- 2560×1920(約500万画素)
- 2048×1536(約310万画素)
- 1280×960(約120万画素)
- 640×480(約30万画素)

⑦撮影可能枚数 P115

⑧画質 P60
- ファイン（低圧縮（1/4）モード）
- スタンダード（標準圧縮（1/8）モード）
- エコノミー（高圧縮（1/12）モード）

⑨日付／時刻 P28

⑩セルフタイマー P72
- 10s セルフタイマー10秒
- 2s セルフタイマー2秒
- 10+2s セルフタイマー10+2秒

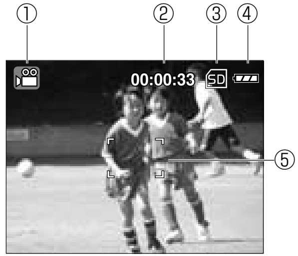
⑪ 手ぶれ注意マーク P39

⑫露出補正 P66
（※設定値0時は非表示）
−2.0EV〜+2.0EV（1/3ステップ）

⑬ホワイトバランス（Wバランス）P67
- オート（※オート時は非表示）
- 晴天
- 曇天
- 白熱灯
- 蛍光灯

⑭撮影距離モード P39
- 近距離
- 標準

動画撮影モード時　動画を撮る P40



① 動画撮影モードマーク

②撮影可能時間（※撮影中は経過時間が赤字で表示されます）

③メモリー P30
- 内蔵メモリー使用
- SDメモリーカード使用

④電池残量 P25

⑤フォーカスフレーム

▶再生モード時（静止画）

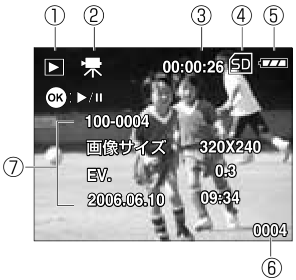
静止画／動画を見る P43



① ▶再生モードマーク
②メモリー P30
内蔵メモリー使用
SDメモリーカード使用
③電池残量 P25
電池の残量は十分です。
電池の残量が少なくなっています。
まもなく電池の残量がなくなります。
電池の残量がありません。
④ファイル番号
⑤再生画像情報
（※約2秒ほど表示されますが、その後消えます。）

▶再生モード時（動画）

動画を再生する場合は P46



① ▶再生モードマーク
② 動画再生モードマーク
③撮影秒数
④メモリー P30
内蔵メモリー使用
SDメモリーカード使用
⑤電池残量 P25
⑥ファイル番号
⑦再生画像情報
（※約2秒ほど表示されますが、その後消えます。）

基本操作編

カメラの基本的な操作を説明します。本項の内容で、カメラの基本的な操作を行うことができます。

準備する ―― 24
- ■ 電池を入れる ―― 24
- ■ 電源のオン／オフ ―― 26
- ■ 日付／時刻を合わせる ―― 28
- ■ SDメモリーカードを使う場合 ―― 30
- ■ 初期設定に戻す ―― 32

静止画／動画を撮る ―― 34
- ■ 静止画を撮る ―― 34
- ■ ストロボを使う ―― 36
- ■ ズームを使う ―― 38
- ■ 近距離撮影をする ―― 39
- ■ 動画を撮る ―― 40

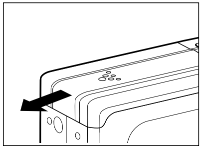
静止画／動画を見る ―― 43

画像を消去する ―― 47

準備する

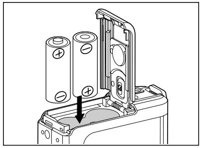
■ 電池を入れる

1



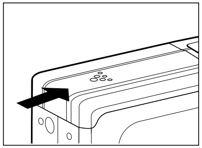
電池／メモリーカードカバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2



＋と－のしるしにあわせて電池を入れます。

3



電池／メモリーカードカバーを閉じます。

- 電池の交換は電源をオフにして行ってください。
- 電池カバーを乱暴に開かないでください。破損する恐れがあります。
- 電池カバーを開閉する場合は電池が落下しないようにご注意ください。
- 本機は電源オフ時でも内部時計のバックアップ用として微電流が流れています。長期間使用しない場合は電池をはずして保管することをおすすめします。

使用できる電池

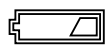
本機は単3形アルカリ乾電池以外に、単3形ニッケル水素電池（充電式）を使用できます。（日立マクセル(株)HR-3SD推奨）
液晶モニターに表示される電池残量表示については、**電池残量の表示**をご覧ください。

- 単3形マンガン乾電池は使用できません。
- 本パッケージに同梱の単3形アルカリ乾電池2本は、最初に基本操作をご確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。
- 同梱のアルカリ乾電池による電池寿命の目安（CIPA規格による撮影可能枚数 P115）は、約120枚です。
  より経済的にご使用になりたい場合は、市販の単3形ニッケル水素電池でのご使用をおすすめします。

電池残量の表示

 電池の残量は十分です。

 電池の残量が少なくなっています。

 まもなく電池の残量がなくなります。
（この表示の場合は、ストロボの充電中に電源がオフになったり、また、**フォーマットする** P83、**内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーする** P75 場合など、正常に動作せず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなったり、記録されているデータが破損するおそれがありますので、新しい電池と交換することをおすすめします。）

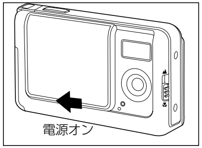
 電池の残量がありません。新しい電池と交換してください。

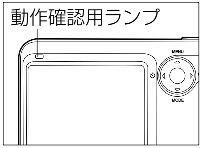
- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- 電池残量の表示はご使用上の目安としてお使いください。

電池寿命の目安については、電池寿命の目安 P115 にてご確認ください。

■ 電源のオン／オフ

1

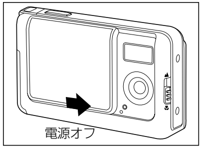




レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、静止画撮影モード（A オート）で起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

2



レンズカバーをゆっくりと閉じて電源をオフにします。

- レンズカバーの開閉動作が早すぎると、電源がオン／オフしない場合があります。その場合はゆっくりと操作をやり直すか、電池／メモリーカードカバーを一度開け閉めしてください。
- 初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていて、内部時計がリセットされた場合には、日付／時刻の設定画面が表示されます。その場合は、**日付／時刻を合わせる** P28 の手順に従って、日付／時刻を設定してください。

オートパワーオフ（オートオフ）機能について

本機には節電のために自動的に電源がオフになる機能（オートオフ機能）がついています。

電源オンのままで一切の操作を行わずにカメラを放置する（初期設定は［1分］ P57 ）と、自動的に電源がオフになります。
再び使用するときはレンズカバーを一旦閉じてから、電源をオンにしてください。

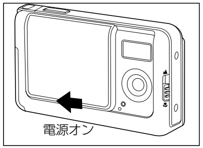
- パソコンとUSB接続している場合や**スライドショー再生** P77 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- 各項目を設定中にオートパワーオフ機能がはたらき電源がオフになったときは、その前に設定した内容が保持されていない場合があります。その場合は、再度設定し直してください。

■ 日付／時刻を合わせる

初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。
その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、以下の手順で日付／時刻を設定してください。

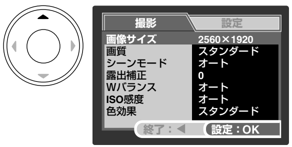
- **電池交換時は必ず時計表示を確認してください。内部時計は約24時間バックアップしますが、電池の使用時間によっては、日付／時刻の設定をリセットする場合があります。**
- **ここで設定した日付／時刻は、電源をオフにした後や初期設定に戻す** P32 **操作を行っても保持されます。**

1



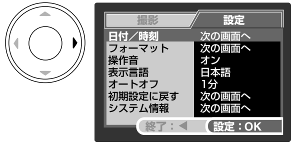
レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。
動作確認用ランプが点灯し、静止画撮影モード（A オート）で起動します。液晶モニターに映像が表示されます。
電源のオン／オフ P26

2

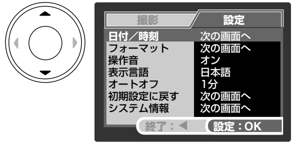


【▲】（MENU）を押します。
［撮影］メニューが表示されます。

3



【▶】で［設定］メニューを選び、



【▲】【▼】で［日付／時刻］を選び、



OKを押します。
日付／時刻設定画面が表示されます。

4



「年」→「月」→「日」→「時」→「分」の順に【▲】【▼】【▶】を使って合わせ、
【▲】：数値をプラス
【▼】：数値をマイナス
【▶】：項目の選択と数値の決定



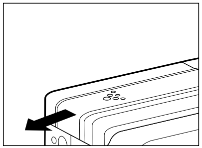
すべて合わせたらOKを押します。
設定した内容を保持し、［設定］メニューに戻ります。

■ SDメモリーカードを使う場合

SDメモリーカードについて P12 をあわせてご覧ください。
本機はSDメモリーカード（別売）を使用することができます。
（32/64/128/256/512MB/1GB対応）
SDメモリーカードを使用しなくても撮影できます。
（内蔵16MBフラッシュメモリー搭載）
また**内蔵メモリー内の画像データをSDメモリーカードへコピーする** P75 こともできます。

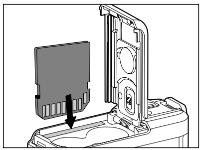
- **撮影可能枚数・時間の目安については、画像記録枚数・時間／データサイズ P115 をご覧ください。**

1



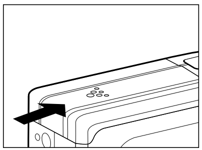
電源がオフであることを確認してから、電池／メモリーカードカバーを矢印の方向へスライドさせて開きます。

2



SDメモリーカードスロットにSDメモリーカードを挿入します。
SDメモリーカードは図の向きで「カチッ」と音がなるまで確実に差し込んでください。

3

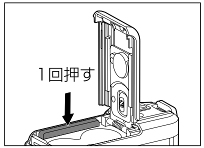


電池／メモリーカードカバーを閉じます。

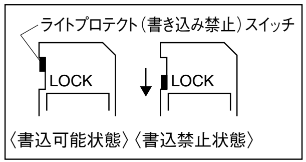
- SDメモリーカードを使用（挿入）するとSDメモリーカードが優先されます。SDメモリーカード使用時は、内蔵メモリーに記録したり、内蔵メモリー内の画像を消去することはできません。
- SDメモリーカードを入れたり、取り出したりする場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。SDメモリーカードやSDメモリーカード内のデータが破損する原因になる場合があります。
- 他のデジタルカメラやパソコンでフォーマット（初期化）したSDメモリーカードを使用する場合は、本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。フォーマットの方法については**フォーマットする** P83 をご覧ください。

SDメモリーカードを取り出すには

電池／メモリーカードカバーを開き、SDメモリーカードを1回押して取り出してください。



SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）について

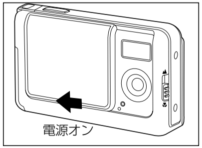


SDメモリーカードにはライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチがついています。
ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが、「LOCK」になっていると液晶モニターに「カードプロテクト！」と表示され、通常の撮影や消去ができません。

■ 初期設定に戻す

ご使用中に様々な設定をしてしまった時など、元の設定に戻したい場合は、以下の操作で各設定項目を初期設定に戻すことができます。

1



レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、静止画撮影モード（A オート）で起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P26

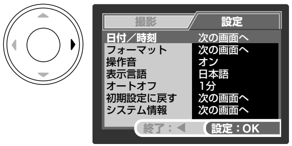
2



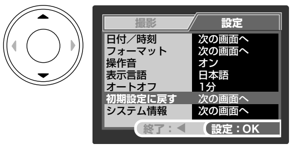
【▲】(MENU)を押します。

[撮影] メニューが表示されます。

3



【▶】で [設定] メニューを選び、



【▲】【▼】で [初期設定に戻す] を選び、



OKを押します。

確認画面が表示されます。

4



【▲】【▼】で [キャンセル]／[実行] を選び、



OKを押します。

- [キャンセル] を選ぶと、各設定を初期設定に戻さずに、[設定] メニュー画面に戻ります。
- [実行] を選ぶと、各設定を初期設定に戻し、[設定] メニュー画面に戻ります。

各項目の初期設定

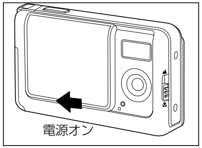
設定項目	初期設定
画像サイズ P60	2560x1920
画質 P60	スタンダード
シーンモード P64	オート
露出補正 P66	0
Wバランス P67	オート
ISO感度 P68	オート
色効果 P69	スタンダード
彩度 P70	中
シャープネス P71	中
プレビュー P59	オン
日付プリント P74	オフ
操作音 P56	オン
オートオフ P57	1分

表示言語の項目は**初期設定に戻す**操作を行っても設定内容が優先され、初期設定には戻りません。

静止画／動画を撮る

■ 静止画を撮る

1

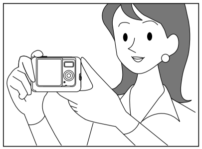


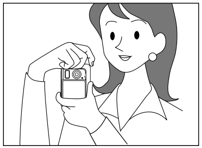
レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、静止画撮影モード（A オート）で起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P26

2



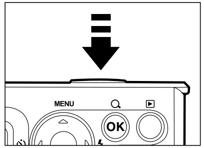


両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

両方の手でカメラを持ち、脇を締めてカメラをしっかりと固定してください。

3



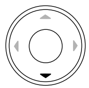


被写体をフォーカスフレームに合わせシャッターボタンを押します。

シャッターがきれます。

- “ピッ”という音で、撮影されたことをおしらせします。
- プレビューの設定を[オン]にしている場合（初期設定は[オン]）は、撮影された画像が液晶モニターに表示されます。
- 撮影後に動作確認用ランプが点灯または消灯している場合は、画像記録中、ストロボ充電中のため、次の撮影はできません。

手ぶれ軽減モードについて



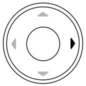
A オートモードから【▼】(MODE) を１度押して切り替えます。表示画面に 手ぶれ軽減モードと表示されます。

ISO感度（撮像感度）を高く設定することにより、速いシャッタースピードで撮影し、手ぶれを軽減した撮影を行うことができるモードです。
ISO感度が高く設定されることにより、画像にはノイズが増えます。状況に応じてモードを使い分けてください。

- “手ぶれ軽減の効果は、ご使用の状況や環境によって異なります。
- 暗い場所での撮影は、ストロボを使用してください。ストロボの連動範囲外の被写体については、オートモードまたは夜景モードでの撮影をおすすめします。

■ ストロボを使う

撮影状況、目的に応じてストロボの設定を選んでください。

1 

静止画撮影モードで、【▶】(ϟ)を繰り返し押して、ストロボモードを選びます。

液晶モニターに選んだストロボモードがアイコン表示されます。

ストロボモード	設定内容
(表示なし) **オートモード** **初期設定**	撮影状況に応じて自動的にストロボを発光します。 (シャッタースピード：1〜1/1500秒)
赤目軽減モード	暗いとところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。 撮影のためのストロボの前に一度ストロボが発光します。 (シャッタースピード：1/30〜1/2000秒)
ϟ **強制発光モード**	常にストロボを発光させます。 (シャッタースピード：1/30〜1/2000秒)
発光禁止モード	ストロボは発光しません。 被写体を自然に撮りたいときに使用します。 暗いところではシャッタースピードが遅くなり、手ぶれが起こりやすくなります。 シャッタースピード：1〜1/2000秒)

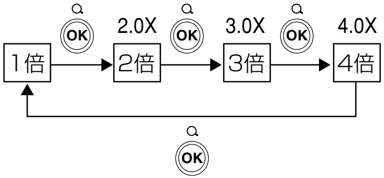
- ストロボモードをオートに設定している場合は、アイコンは表示されません。
- ストロボの連動範囲(推奨)は、(標準モード)時の撮影可能範囲と連動して、約60cm〜約250cmになります。この範囲外の被写体に対しては適切な効果が得られません。また、**ISO感度の設定** P68 などによって異なります。
- ここで選んだストロボモードは、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P32 操作を行うとオートモードに戻ります。
- 近くでストロボ発光部を見ないようにご注意ください。
- ストロボ発光部を指などでふさがないようにご注意ください。
- 近距離モード時は、ストロボは発光しません。
- 電池残量が少ない場合は、ストロボの充電中に電源がオフになることがあります。その場合は、電池を交換することをおすすめします。
- 動作確認用ランプが点滅していない場合はストロボの充電中で、撮影はできません。
- ストロボの充電には約10秒程かかる場合があります。充電時間は使用状況や電池残量によって異なります。
- ストロボの充電中にシャッターボタンを押しても、撮影することはできません。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や条件によって、効果が表れにくい場合があります。
- ストロボを発光した場合は、外光や蛍光灯など他の光源の影響で色味が変わる場合があります。

■ ズームを使う

被写体をズーム倍率（デジタルズーム）2倍、3倍、4倍で拡大して撮影できます。

1 **静止画撮影モードで、ズーム（OK）ボタンを押して、ズームを調整します。**

ズーム(OK)ボタンを押すごとに倍率が2倍〜4倍に切り替わります。

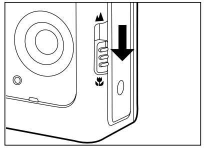


- **ここで選んだデジタルズームは、モードを変更したり、再度電源を入れ直したりすると、ズームなし（標準）に戻ります。**
- **動画撮影モード時はズームを利用することはできません。**
- **撮影距離切替スイッチが（近距離モード）に設定されている場合も、ズームの調整はできます。**
- **デジタルズーム撮影は、デジタル処理で被写体を拡大して撮影するため、カメラ本来の画質性能を十分に発揮することはできません。**

■ 近距離撮影をする

近距離モードに設定して撮影すると、約60cm〜約100cmの近距離撮影が可能になります。

1



静止画撮影モードで、撮影距離切替スイッチを（近距離モード）に切り替えます。

液晶モニターにが表示されます。

近距離モード：
撮影可能範囲約60cm〜約100cm
標準モード：
撮影可能範囲約100cm〜∞

- **近距離モードと標準モード以外の範囲では、焦点が合わない場合がありますので、撮影可能範囲での撮影をおすすめします。**
- **近距離モードに設定すると、ストロボは発光されません。**

手ぶれ注意マークについて

- シャッターボタンを押すときは、手ぶれに十分ご注意ください。

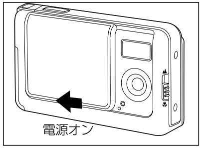


- 被写体の明るさやストロボモードの状態（暗い場所でストロボが発光禁止になっているなど）から、手ぶれしやすい場合は、手ぶれ注意マークが表示されます。
- 手ぶれ注意マークが表示されている場合は、被写体や撮影モード（ストロボモードなど）を変更するか、三脚を使う、またはセルフタイマー撮影（2秒など）をする P72 などして、カメラをしっかりと固定して撮影してください。

■ 動画を撮る

本機は動画（音声なし）を撮影できます。撮影した動画はカメラで再生することができます。

1

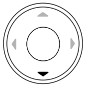


レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、静止画撮影モード（A オート）で起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P26

2



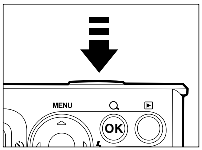
2回押す



【▼】(MODE)を2回押して、動画撮影モードに切り替えます。

液晶モニターに（動画撮影モードマーク）と撮影可能時間が表示され、動画撮影モードになります。

3





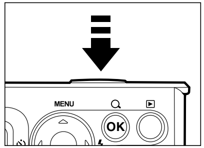
シャッターボタンを押します。

撮影を開始します。

- 撮影中は液晶モニターに撮影経過時間が赤字でカウントされます。

"ピッ" という音で撮影が開始されたことをおしらせします。

4



撮影をストップするときは、シャッターボタンを押します。

動画撮影を停止します。

"ピッ" という音で撮影が停止されたことをおしらせします。

- 撮影に必要なメモリ残量がなくなると、撮影は自動的に停止します。
- ストロボ、セルフタイマー、ズーム、近距離モード撮影はできません。ホワイトバランス P67 、露出補正 P66 の設定は動画撮影時も有効です。

動画撮影モードから静止画撮影モードに戻る場合は、【▼】(MODE) を押します。

動画ファイルについて

画像サイズ(記録画素数)	320×240ピクセル
記録画像ファイルフォーマット	AVI(Motion JPEG、音声なし)
フレームレート	約30フレーム/秒
記録時間	内蔵16MBフラッシュ内蔵メモリー時：約29秒 SDメモリーカード64MB(別売)時：約129秒

データサイズ、撮影時間はあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

- 動画ファイル(ファイル形式：AVI、圧縮形式：Motion JPEG)をパソコンで再生するには、QuickTime3.0以上やWindows Media Player(※)などの記録画像ファイルフォーマットに対応した再生用のソフトウェアが必要です。

(※) Windows Media Playerをお使いの場合は、動画ファイルを再生できない場合があります。
その場合は、コーデック(Compression/Decompressionの略で音声や動画の圧縮・伸張(再生)を行うための専用プログラム)が含まれるDirectX8.1などの、機能拡張ツールが必要です。

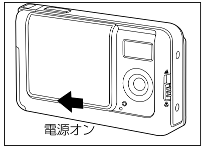
静止画／動画を見る

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生、ズーム再生(1.5倍〜4倍(0.5ステップ))、インデックス再生(9分割)、スライドショー再生、動画再生があります。

スライドショー再生については、スライドショー再生をする P77 **をご覧ください。**

シングル再生をする場合は

1

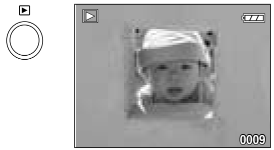


レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、静止画撮影モード(A オート)で起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P26

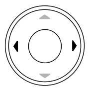
2



▶を押して再生モードに切り替えます。

最後に撮影された画像が表示されます。(シングル再生)

3



【◀】【▶】で画像を選びます。

- 動画の場合は最初の1フレームが表示されます。



ズーム再生をする場合は

シングル再生で表示された画像を、1.5倍〜4倍（0.5ステップ）の倍率でズーム再生することができます。

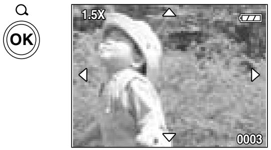
動画像はズーム再生できません。

1

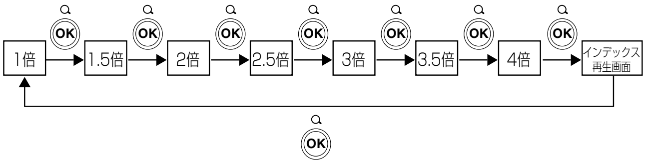


【◀】【▶】でズーム再生したい静止画像を選びます。

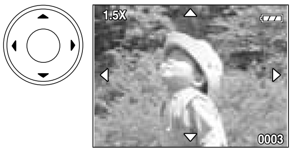
2



ズーム（OK）ボタンを押すごとに0.5ステップで中央部分を拡大して再生します。



3



【▲】【▼】【◀】【▶】で表示位置を調整します。

選んで再生（インデックス再生）をする場合は

液晶モニターに9分割で複数の画像を表示させることができます。
たくさんの画像を撮影した場合など、画像を選ぶのに便利です。

1

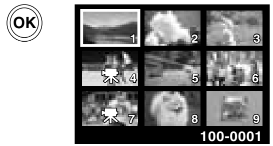


再生モードから【▲】（MENU）を押します。
［再生］メニューが表示されます。

2

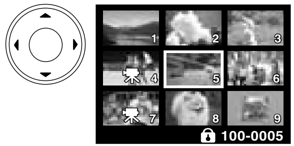


【▲】【▼】で［選んで再生］を選び、



OKを押します。
インデックス再生画面になります。
- 動画には 🎥 が表示されます。

3



【▲】【▼】【◀】【▶】で画像を選び、
- このとき、プロテクト P79 されている画像には 🔒 が表示されます。

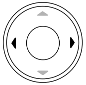


OKを押します。
選んだ画像のシングル再生画面になります。

インデックス再生画面は静止画再生中に ズーム（OK）ボタンを繰り返し（7回）押すことによっても表示できます。 P44 2

動画を再生する場合は

1





【◀】【▶】で再生したい動画を選びます。

動画には🎥が表示されます。液晶モニターに撮影した時間が表示されます。

2

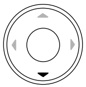




OKを押すと再生をスタートします。

液晶モニターに再生時間も表示されます。

3



再生中に【▼】を押すと、再生を停止し最初の1フレーム表示に戻ります。OKを押すと一時停止し、再びOKを押すと一時停止を解除します。

OK ：再生スタート／一時停止／一時停止解除
【▼】：停止（最初の1フレーム表示に戻る）

再生スピードを選んで再生する場合は

動画再生中に【▲】(MENU) ボタンを押して、再生スピードを調整します。
【▲】(MENU) ボタンを押すごとに再生スピードが2倍、4倍、8倍に切り替わります。

FW1X 1倍 →【▲】→ FW2X 2倍 →【▲】→ FW4X 4倍 →【▲】→ FW8X 8倍 →【▲】→ 1倍

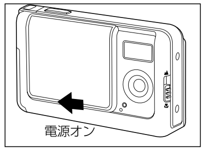
画像を消去する

画像を消去するには
・1枚ずつ消去する
・すべての画像を消去する
・画像を選んで消去する
の3つの方法があります。

一度消去してしまった記録内容は二度と元に戻すことはできません。消去を行うときは、本当に不要なファイルかどうかよく確かめてから行ってください。
特にすべての画像を消去する場合は、すべての内容を一度に消去してしまいますので、内容をよく確かめてから操作してください。

1枚ずつ消去する場合は

1

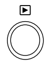


レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

動作確認用ランプが点灯し、静止画撮影モード（Ａ オート）で起動します。液晶モニターに映像が表示されます。

電源のオン／オフ P26

2

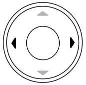




▶を押して再生モードに切り替えます。

最後に撮影された画像が表示されます。

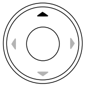
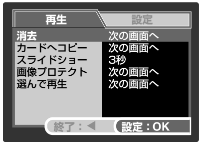
3




【◀】【▶】で消去したい画像を選びます。

●動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

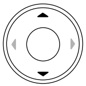
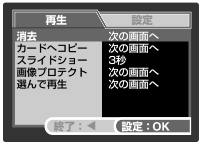
4

【▲】(MENU)を押します。

[再生]メニューが表示されます。

5

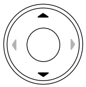
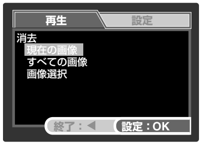



【▲】【▼】で [消去] を選び、



OKを押します。

6

【▲】【▼】で [現在の画像] を選び、

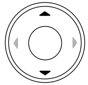
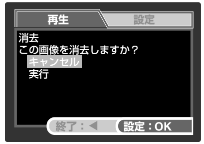


OKを押します。

消去確認の画面が表示されます。

●この時点ではまだ消去されていません。

7

【▲】【▼】で [キャンセル]／[実行] を選び、



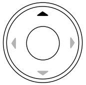
OKを押します。

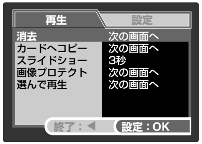
● [キャンセル] を選ぶと、消去を中止して、シングル再生画面に戻ります。

● [実行] を選ぶと選んだ画像が消去されてシングル再生画面に戻ります。
続けて消去を行う場合は、消去したい画像を選び、再度【▲】(MENU) を押して [再生] メニューから操作してください。

すべての画像を消去する場合は

1

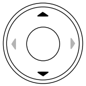


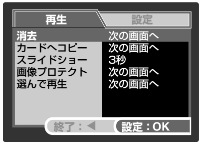


再生モードから【▲】(MENU) を押します。

[再生]メニューが表示されます。

2



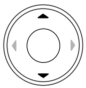


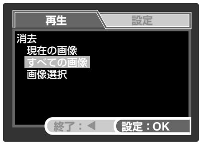
【▲】【▼】で [消去] を選び、



OKを押します。

3





【▲】【▼】で [すべての画像] を選び、

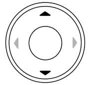


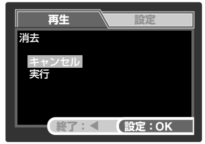
OKを押します。

消去確認の画面が表示されます。

- **この時点ではまだ消去されていません。**

4





【▲】【▼】で [キャンセル] ／ [実行] を選び、

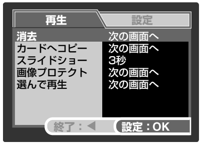


OKを押します。

- [キャンセル] を選ぶと、消去を中止して、シングル再生画面に戻ります。
- [実行] を選ぶとすべて画像が消去されて「画像がありません。」と表示されます。

画像を選んで消去する場合は

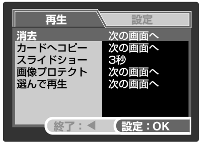
1



再生モードから【▲】（MENU）を押します。

［再生］メニューが表示されます。

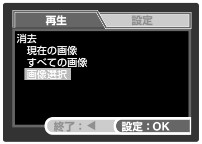
2



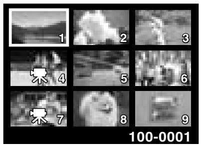
【▲】【▼】で［消去］を選び、

OKを押します。

3



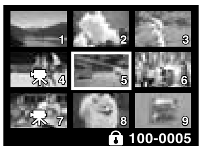
【▲】【▼】で［画像選択］を選び、



OKを押します。

画像選択画面（インデックス表示）が表示されます。

4



【▲】【▼】【◀】【▶】で消去したい画像を選び、

OKを押します。

● 選んだ画像が消去されます。

応用操作編

より細かいカメラの設定内容について説明します。ご使用の目的に応じてお読みください。
応用操作編の各項の≪モード≫の表記は、その項の機能や設定が使用できるモードを表しています。その項の機能や設定を行う場合は、動作モードをそのモードに合わせてご使用ください。

準備について ―――― 54
■ 表示言語を設定する ―――― 54
■ 操作音のオン／オフを設定する ―――― 56
■ オートパワーオフ（オートオフ）の時間を設定する ―――― 57
■ プレビューのオン／オフを設定する ―――― 59

撮影（静止画／動画）について ―――― 60
■ 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する ―――― 60
■ シーンモードを設定する ―――― 64
■ 露出（明るさ）補正を設定する ―――― 66
■ ホワイトバランス（Wバランス）を設定する ―――― 67
■ ISO感度（撮像感度）を設定する ―――― 68
■ 色効果を設定する ―――― 69
■ 彩度を設定する ―――― 70
■ シャープネスを設定する ―――― 71
■ セルフタイマーで撮る ―――― 72
■ 日付プリントを設定する ―――― 74

再生（静止画／動画）について ―――― 75
■ 内蔵メモリからSDメモリーカードに画像をコピーする ―――― 75
（コピー to SDカード機能）
■ スライドショー再生をする ―――― 77
■ 画像プロテクトを設定する ―――― 79

消去について ―――― 83
■ フォーマットする ―――― 83

準備について

■ 表示言語を設定する

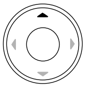
モード：静止画撮影／ 動画撮影／ 再生

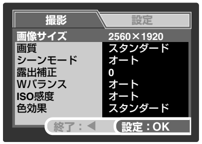
液晶モニターの表示言語は、以下の言語から選ぶことができます。

日本語
English（英語）
繁體中文（中国語1）
简体中文（中国語2）

表示言語のお買い上げ時の設定は［日本語］が設定されていますが、設定を変更される場合は、以下の操作で変更します。

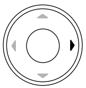
1

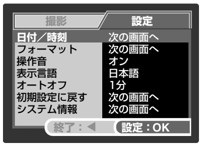




各モードから【▲】(MENU)を押します。
［撮影］メニューが表示されます。

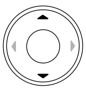
2

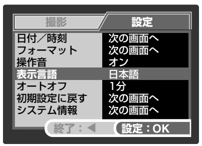




【▶】で［設定］メニューを表示させます。

3



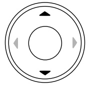


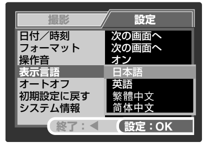
【▲】【▼】で［表示言語］を選び、



OKを押します。

4





【▲】【▼】で設定したい表示言語を選び、



OKを押します。
選んだ内容を保持し、［設定］メニューに戻ります。

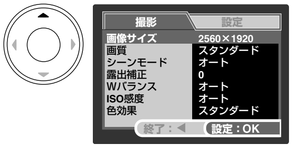
ここで選んだ表示言語は、**初期設定に戻す** P32 操作や電源をオフにした後も保持されます。

■ 操作音のオン／オフを設定する

モード：静止画撮影／動画撮影／再生

操作音の［**オン**］ **初期設定** ／［**オフ**］を設定できます。

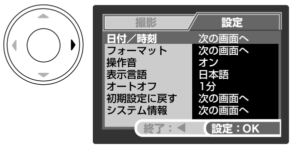
1



各モードから【▲】(MENU)を押します。

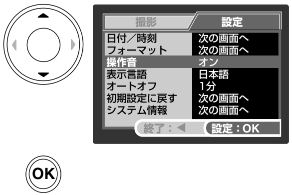
［撮影］メニューが表示されます。

2



【▶】で［設定］メニューを表示させます。

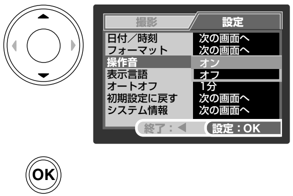
3



【▲】【▼】で［操作音］を選び、

OKを押します。

4



【▲】【▼】で［オン］／［オフ］を選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し、［設定］メニューに戻ります。

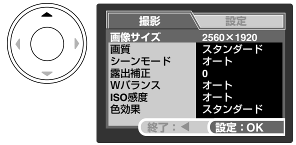
- ここで選んだ操作音の［オン］／［オフ］は、電源をオフにしたあとも保持されますが、**初期設定に戻す** P32 操作を行うと［オン］に戻ります。
- 操作音を「オフ」に設定されても、シャッターボタンを押したとき、「ピッ」という音が鳴ります。

■ オートパワーオフ（オートオフ）の時間を設定する

モード：静止画撮影／動画撮影／再生

オートパワーオフの時間（**1分** **初期設定** ／**3分**／**5分**／**オフ**）を設定できます。**オートパワーオフ機能について** P27

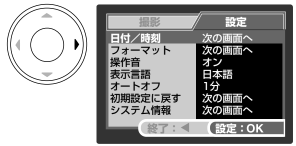
1



各モードから【▲】(MENU)を押します。

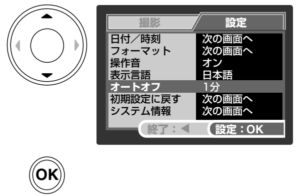
［撮影］メニューが表示されます。

2



【▶】で［設定］メニューを表示させます。

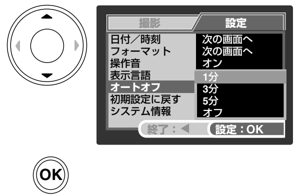
3



【▲】【▼】で［オートオフ］を選び、

OKを押します。

4



【▲】【▼】で［1分］／［3分］／［5分］／［オフ］を選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し、［設定］メニューに戻ります。

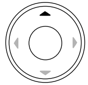
- ●ここで選んだオートパワーオフの時間は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P32 操作を行うと［1分］に戻ります。
- ●USB接続や**スライドショー再生** P77 をしている場合は、オートパワーオフ機能ははたらきません。

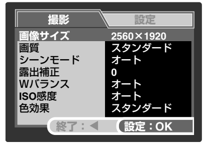
■ プレビューのオン／オフを設定する

モード：静止画撮影

撮影直後に、撮影された画像を表示するプレビュー［**オン**］**初期設定**／表示しない［**オフ**］を設定できます。

1

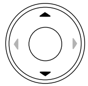


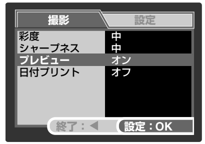


静止画撮影モードから【▲】（MENU）を押します。

［撮影］メニューが表示されます。

2



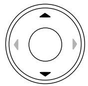


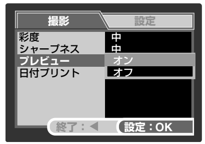
【▲】【▼】で［プレビュー］を選び、



OKを押します。

3





【▲】【▼】で［オン］／［オフ］を選び、



OKを押します。

選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

ここで選んだプレビューの設定は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P32 操作を行うと［オン］に戻ります。

撮影（静止画／動画）について

■ 画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定する

モード：静止画撮影

目的に応じて、画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）を設定できます。

画像サイズ（記録画素数）

- 2560×1920（約500万画素）**初期設定**
- 2048×1536（約310万画素）
- 1280×960（約120万画素）
- 640×480（約30万画素）

画質（圧縮率）

- ★★★ ファイン（低圧縮（1/4）モード）
- ★★ スタンダード（標準圧縮（1/8）モード）**初期設定**
- ★ エコノミー（高圧縮（1/12）モード）

- ここで選んだ画像サイズ、画質は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P32 操作を行うと画像サイズは □ [2560×1920] に、画質は ★★ [スタンダード] に戻ります。
- 動画撮影時は320×240の画像サイズ（記録画素数）になります。

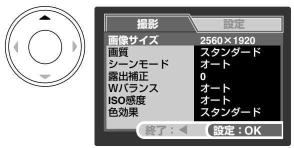
画像サイズ（記録画素数）と画質（圧縮率）について

画像サイズを大きくし、画質をファインにすると、データ容量は大きくなり、メモリなどに記録できる画像枚数が少なくなります。2560×1920／2048×1536はプリントユースで使用する場合、1280×960／640×480はメール添付用などインターネット上で使用する場合を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

各画像サイズや画質での記録枚数については、**画像記録枚数・時間** P115 をご覧ください。

画像サイズを設定する場合

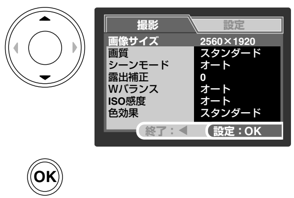
1



静止画撮影モードから【▲】(MENU)を押します。

[撮影] メニューが表示されます。

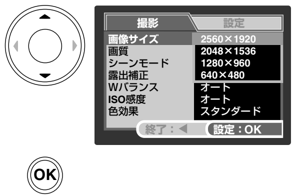
2



【▲】【▼】で [画像サイズ] を選び、

OKを押します。

3



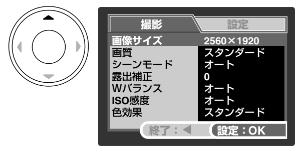
【▲】【▼】で設定したい画像サイズを選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

画質を設定する場合

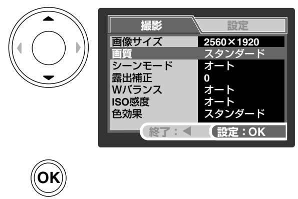
1



静止画撮影モードから【▲】(MENU)を押します。

[撮影] メニューが表示されます。

2



【▲】【▼】で [画質] を選び、

OKを押します。

3



【▲】【▼】で[ファイン]／[スタンダード]／[エコノミー] を選び、

OKを押します。

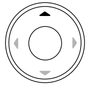
選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

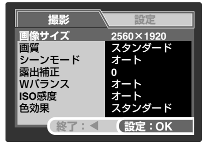
■ シーンモードを設定する　**モード：静止画撮影**

様々なシーンにあわせて、シーンモードを設定すると、カメラがそのシーンに最適なモードで撮影します。

シーンモードの種類	設定内容
オート	カメラが自動的にシーンモードを設定します。 通常の撮影時に使用するモードです。**初期設定**
スポーツ	速いシャッタースピードで撮影し、動体の撮影に適したモードです。
夜景	遅いシャッタースピードで撮影し、夜景などで背景だけが暗くなるのを軽減します。 **三脚を使用するなどして、カメラを固定して撮影してください。**
人物	人物の撮影に適したモードです。
風景	焦点距離を遠景に設定し、風景の撮影に適したモードです。
逆光	逆光時など背景が明るいときに、対象が暗くなるのを軽減します。

1

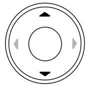


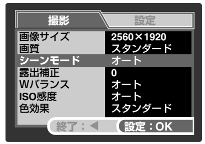


静止画撮影モードから【▲】(MENU)を押します。

［静止画撮影］メニューが表示されます。

2



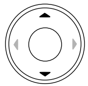


【▲】【▼】で［シーンモード］を選び、



OKを押します。

3





【▲】【▼】でシーンモードの種類を選び、



OKを押します。

選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

ここで選んだシーンモードの設定は、電源をオフにしたり、**初期設定に戻す** P32 操作を行うと［オート］に戻ります。

■ 露出（明るさ）補正を設定する

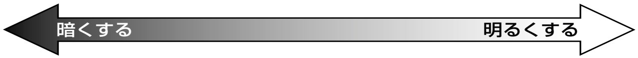
モード：静止画撮影／動画撮影

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、露出（明るさ）を補正することができます。

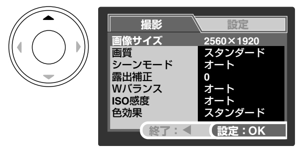
● 設定できる露出補正値（単位：EV（Exposure Value、露出量を表す単位））：

初期設定

−2、−1.7、−1.3、−1、−0.7、−0.3、0、 0.3、 0.7、 1、 1.3、 1.7、 2



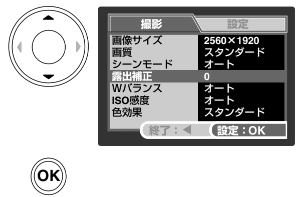
1



静止画撮影／動画撮影モードから【▲】（MENU）を押します。

［撮影］メニューが表示されます。

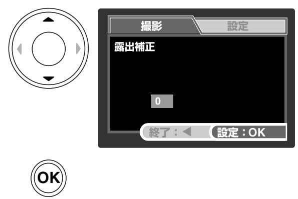
2



【▲】【▼】で［露出補正］を選び、

OKを押します。

3



【▲】【▼】で露出補正値を選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し、各［撮影］メニューに戻ります。

ここで選んだ露出補正値は、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す **P32** **操作を行うと［0］に戻ります。**

■ ホワイトバランス（Wバランス）を設定する

モード：静止画撮影／動画撮影

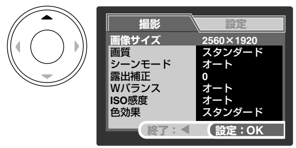
撮影時の光源に合わせてホワイトバランスを設定できます。

（表示なし）**オート**：カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。**初期設定**

晴天：晴天下での撮影　**白熱灯**：白熱灯下での撮影

曇天：曇天下での撮影　**蛍光灯**：蛍光灯下での撮影

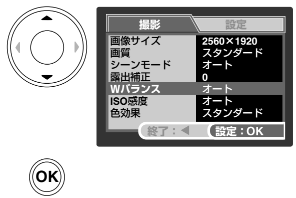
1



静止画撮影／動画撮影モードから【▲】（MENU）を押します。

［撮影］メニューが表示されます。

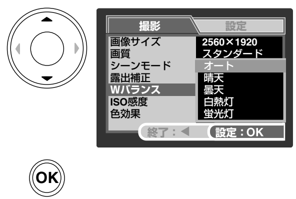
2



【▲】【▼】で［Wバランス］を選び、

OKを押します。

3



【▲】【▼】でホワイトバランスの種類を選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し、各［撮影］メニューに戻ります。

ここで選んだホワイトバランスは、電源をオフにした後も保持されますが、初期設定に戻す **P32** **操作を行うと［オート］に戻ります。**

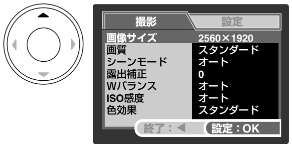
■ ISO感度（撮像感度）を設定する モード：静止画撮影

ISO感度を設定できます。ISO感度とは、写真用フィルムの感度をあらわす単位で、光を感じる能力を数値化したものです。数字の大きいものほど感度が高く、少ない光（暗い場所）での撮影が可能になりますが、画像にノイズが増えます。

（表示なし）**オート**：カメラが自動的に撮像感度を設定します。**初期設定**

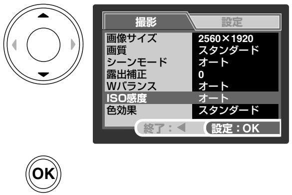
50／100／200／400

1



静止画撮影モードから【▲】（MENU）を押します。
［撮影］メニューが表示されます。

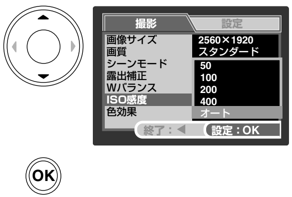
2



【▲】【▼】で［ISO感度］を選び、

OKを押します。

3



【▲】【▼】でISO感度の値を選び、

OKを押します。
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

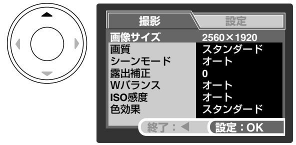
ここで選んだISO感度は、電源をオフにした後も保持されますが、
初期設定に戻す P32 操作を行うと［オート］に戻ります。

■ 色効果を設定する モード：静止画撮影

撮影画像の色効果を設定できます。

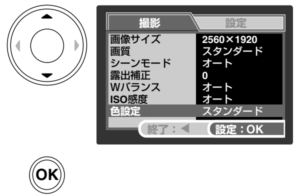
スタンダード **初期設定**
ビビット
セピア
白黒

1



静止画撮影モードから【▲】（MENU）を押します。
［撮影］メニューが表示されます。

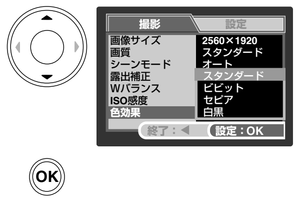
2



【▲】【▼】で［色効果］を選び、

OKを押します。

3



【▲】【▼】で［スタンダード］／［ビビット］／［セピア］／［白黒］を選び、

OKを押します。
選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

ここで選んだ色効果は、電源をオフにした後も保持されますが、
初期設定に戻す P32 操作を行うと［スタンダード］に戻ります。

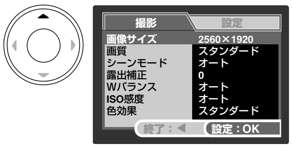
■ 彩度を設定する

モード：静止画撮影

撮影画像の彩度（色の鮮やかさ）を設定できます。

高
中 **初期設定**
低

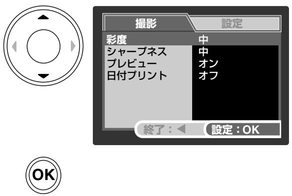
1



静止画撮影モードから【▲】(MENU）を押します。

［撮影］メニューが表示されます。

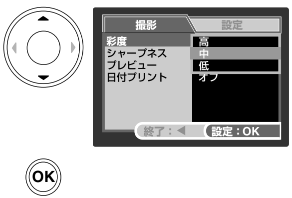
2



【▲】【▼】で［彩度］を選び、

OKを押します。

3



【▲】【▼】で［高］／［中］／［低］を選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

ここで選んだ彩度は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P32 操作を行うと［中］に戻ります。

■ シャープネスを設定する

モード：静止画撮影

撮影画像のシャープネス（鮮明さ）を設定できます。

高
中 **初期設定**
低

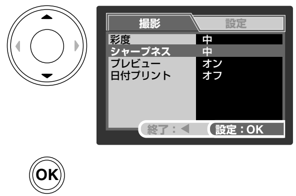
1



静止画撮影モードから【▲】(MENU）を押します。

［撮影］メニューが表示されます。

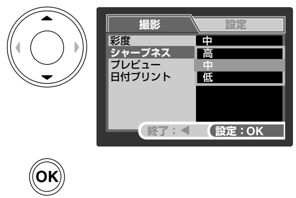
2



【▲】【▼】で［シャープネス］を選び、

OKを押します。

3



【▲】【▼】で［高］／［中］／［低］を選び、

OKを押します。

選んだ内容を保持し、［撮影］メニューに戻ります。

ここで選んだシャープネスは、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P32 操作を行うと［中］に戻ります。

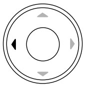
■ セルフタイマーで撮る　　**モード：静止画撮影**

セルフタイマー機能を使用して撮影することができます。
セルフタイマー撮影を行う場合は、三脚を使用するなどしてカメラを固定して撮影してください。

（表示なし）：なし
ꀀ10s **セルフタイマー10秒**：10秒後に撮影されます。
ꀀ2s **セルフタイマー2秒**：2秒後に撮影されます。
ꀀ10+2s **セルフタイマー10+2秒**：10秒後とひきつづきその2秒後の2回撮影されます。

- 集合写真などを撮影する場合に、念の為に2回撮影しておきたい場合などに便利です。

1

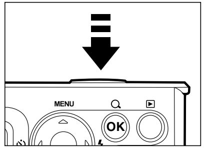




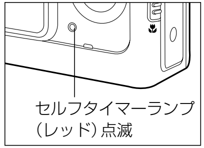
静止画撮影モードから【◀】（セルフタイマー）を繰り返し押して、セルフタイマーの時間を選びます。

選んだタイマー時間のアイコンが液晶モニターに表示されます。

2



構図を決め、シャッターボタンを押します。



- セルフタイマーランプ（レッド）の点滅と液晶モニター内の数字がカウントダウン表示され、セルフタイマー撮影を開始し、設定秒数後に撮影されます。



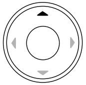
- **セルフタイマー撮影を途中で止める場合は、セルフタイマーボタン（【◀】）を押します。**
- **撮影時の各設定（画像サイズ、画質、ズーム、ホワイトバランス、露出補正など）はセルフタイマー撮影時も有効です。**
- **一度セルフタイマー撮影を行うと、セルフタイマー機能は解除されます。続けてセルフタイマー撮影を行う場合は、再度設定し直してください。**

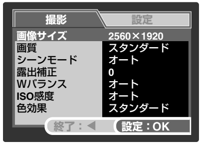
■ 日付プリントを設定する　　モード：静止画撮影

撮影画像に撮影時の日付を焼き付けることができます。

日付プリントの設定を [オン] にして静止画を撮影すると（初期設定 [オフ]）、撮影画像のJPEGファイル自体（右下部）に日付が焼き付けられます。プリンタなどの設定でファイルの日付情報を印刷する操作とは異なりますのでご注意ください。

1

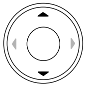


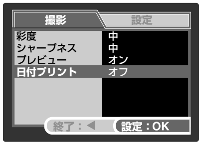


静止画撮影モードから【▲】（MENU）を押します。

[撮影] メニューが表示されます。

2



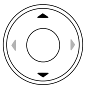


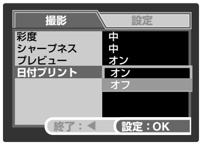
【▲】【▼】で [日付プリント] を選び、



OKを押します。

3





【▲】【▼】で [オン] ／ [オフ] を選び、



OKを押します。

選んだ内容を保持し、[撮影] メニューに戻ります。

- ここで選んだ日付プリントの[オン]／[オフ] は、電源をオフにした後も保持されますが、**初期設定に戻す** P32 操作を行うとオフに戻ります。
- 日付プリントの文字の色や大きさ、位置を設定することはできません。

再生（静止画／動画）について

■ 内蔵メモリーからSDメモリーカードに画像をコピーする（コピー to SDカード機能）

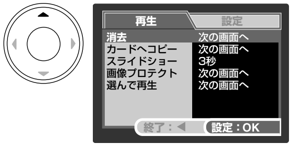
モード：▶再生

内蔵メモリー（16MB）に入っている画像をSDメモリーカードへコピーすることができます。

SDメモリーカードの空き容量が無くなり、内蔵メモリーを使用して撮影した場合などで、後で画像をSDメモリーカードにコピーしたいときなどに便利です。

- 本機能は内蔵メモリー内に画像がある場合で、SDメモリーカードを使用（挿入）している場合にのみ有効です。
- 本操作を行うときは、**必ず電池残量を確認してから行ってください。**
  コピー中に電源がオフになると、正しくコピーされず、記録されているデータが破損したり、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。
- 本操作を行うと、内蔵メモリー内にあるすべての画像をSDメモリーカードにコピーします。コピーする画像を選ぶことはできません。
- 本操作を何回も続けて行うと、SDメモリーカード内には、同じ画像が何枚もコピーされます。

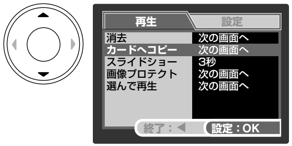
1



再生モードから【▲】(MENU) を押します。

[再生] メニューが表示されます。

2

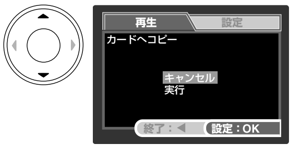


【▲】【▼】で [カードへコピー] を選び、

OKを押します。

コピー確認の画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で [キャンセル] ／[実行] を選び、

OKを押します。

- [実行] を選ぶと内蔵メモリー内にあるすべての画像をSDメモリーカードにコピーし、「処理中…」の表示後、再生モードに戻ります。
- [キャンセル] を選ぶとコピーを中止して、[再生] メニューに戻ります。

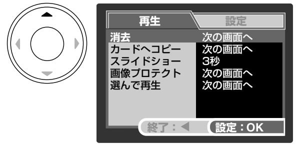
SDメモリーカード内の空き容量が足りない場合は、コピー可能な画像のみをコピーして、コピーを途中で終了します。

■ スライドショー再生をする

モード：▶再生

メモリー内にあるすべての画像を**3秒**／**5秒**／**10秒**間隔でスライドショー再生することができます。

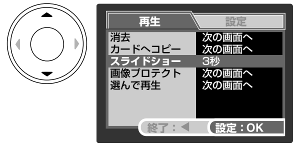
1



再生モードから【▲】(MENU) を押します。

[再生] メニューが表示されます。

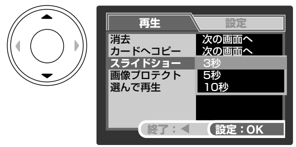
2



【▲】【▼】で [スライドショー] を選び、

OKを押します。

3



【▲】【▼】で [3秒] ／[5秒] ／[10秒] を選び、

OKを押します。

表示中の画像から設定した再生間隔で、スライドショー再生を開始します。



●再生中に、OKを押すと、表示中の画像でスライドショー再生を停止します。

●**動画の場合は最初の1フレームが表示されます。**
●スライドショー再生中は**オートパワーオフ機能** P27 はたらきません。

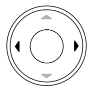
■ 画像プロテクトを設定する　**モード：▶再生**

誤操作による画像の消去などを防止するために、画像ファイルにプロテクトをかけることができます。
画像プロテクトを設定する方法には、
・1枚ずつ画像プロテクトを設定する
・すべての画像にプロテクトを設定する
・画像を選んでプロテクトを設定する
の3つの方法があります。

●**プロテクトされた画像は消去できません。消去したい場合は、プロテクト設定を解除してください。**
●**プロテクトされた画像は、画像の消去時は有効ですが、フォーマットする** P83 **操作を行うと消去されます。**
●**プロテクトを設定していなくても、SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチ** P31 **を、「LOCK」側にすると画像の消去はできません。**

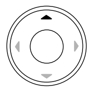
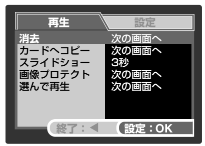
1枚ずつ画像プロテクトを設定する場合は

1



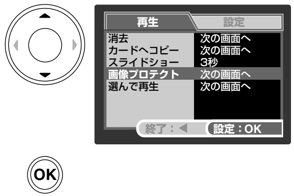

【◀】【▶】でプロテクトしたい画像を選びます。
●動画像の場合は最初の1フレームが表示されます。

2

再生モードから【▲】（MENU）を押します。
［再生］メニューが表示されます。

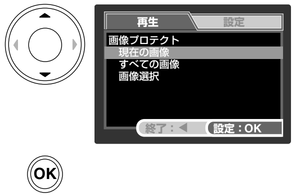
3



【▲】【▼】で［画像プロテクト］を選び、

OKを押します。

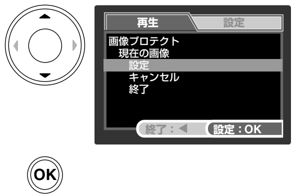
4



【▲】【▼】で［現在の画像］を選び、

OKを押します。

5



【▲】【▼】で［設定］／［キャンセル］／［終了］を選び、

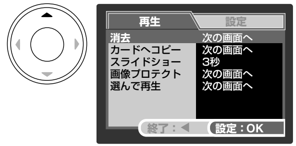
OKを押します。

再生画面に戻ります。

- ［設定］を選ぶと選んだ画像がプロテクトされ、液晶モニターに🔒が表示されます。

すべての画像にプロテクトを設定する場合は

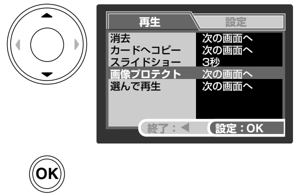
1



再生モードから【▲】（MENU）を押します。

［再生］メニューが表示されます。

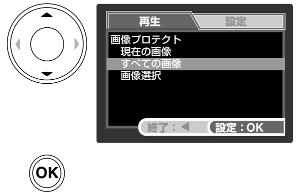
2



【▲】【▼】で［画像プロテクト］を選び、

OKを押します。

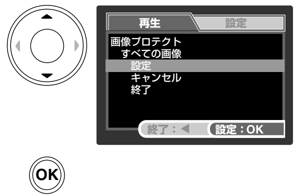
3



【▲】【▼】で［すべての画像］を選び、

OKを押します。

4



【▲】【▼】で［設定］／［キャンセル］／［終了］を選び、

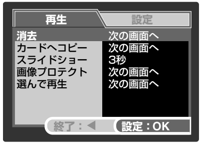
OKを押します。

再生画面に戻ります。

- ［設定］を選ぶとすべての画像がプロテクトされ、液晶モニターに🔒が表示されます。

画像を選んでプロテクトを設定する場合は

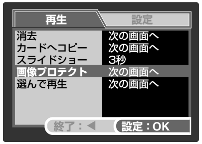
1



再生モードから【▲】(MENU)を押します。

[再生] メニューが表示されます。

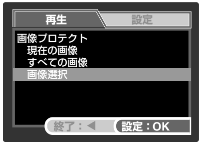
2



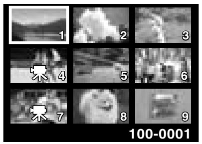
【▲】【▼】で [画像プロテクト] を選び、

OKを押します。

3



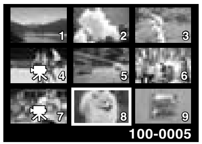
【▲】【▼】で [画像選択] を選び、



OKを押します。

画像選択画面（インデックス表示）が表示されます。

4



【▲】【▼】【◀】【▶】でプロテクトを設定したい画像を選び、

OKを押します。

- 選んだ画像がプロテクトされ、液晶モニターに 🔒 が表示されます。

消去について

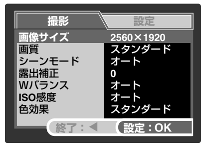
■ フォーマットする

モード：静止画撮影／ 動画撮影／ ▶ 再生

フォーマット（初期化）とは内蔵メモリーまたはSDメモリーカードに画像およびデータを記録できるようにする作業のことです。

- 他のデジタルカメラやパソコンで使用されたSDメモリーカードを使用する場合は、本機で**フォーマット**（初期化）してから使用してください。
- フォーマット（初期化）すると内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内のデータがすべて消去されますので、**内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。**
  ※プロテクトされている画像 P79 **も消去されます。**
- フォーマットを行うときは、電池残量を確認してから行ってください。フォーマット中に電源がオフになると、正しくフォーマットされず、SDメモリーカードが正常に使用できなくなる場合があります。

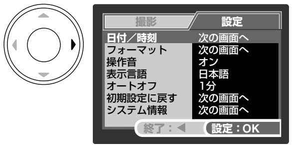
1



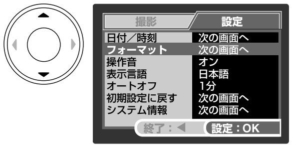
静止画撮影／動画撮影／再生モードから【▲】(MENU)を押します。

[撮影] メニューが表示されます。

2



【▶】で［設定］メニューを選び、



【▲】【▼】で［フォーマット］を選び、



OKを押します。

確認画面が表示されます。

3



【▲】【▼】で［キャンセル］／［実行］を選び、

OKを押します。

- ［キャンセル］を選ぶと、フォーマットを中止し、［設定］メニューに戻ります。
- ［実行］を選ぶと、フォーマットを実行し、「処理中…」の表示後［設定］メニューに戻ります。
  操作は慎重に行ってください。

パソコン接続編

パソコンと接続して画像ファイルをパソコンに取り込む方法について説明します。

パソコンの動作環境を確認する ―――――― 86

パソコンと接続する場合の流れ ―――――― 86

1 カメラとパソコンを接続する ―――――― 87

2 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続）― 90

3 カメラを取り外すときは ―――――― 93

■ パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続（撮影画像の取り込みなど）する場合には、以下の条件が揃っていることが必要です。
接続する前に必ずご確認ください。

□OS：Microsoft Windows Me/2000/XP 日本語版
□USBインターフェース（1.1仕様）を標準装備している機種

- OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証いたしません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

■ パソコンと接続する場合の流れ

以下の手順で、デジタルカメラから、撮影した画像ファイルをパソコンにコピーしたり、デジタルカメラをリムーバブルディスク（リーダ／ライタ）として使用したりできます。
パソコンには［リムーバブルディスク］として認識されます。

1 カメラとパソコンを接続する P87

※初回接続時は［新しいハードウェアが見つかりました］ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。

↓

2 ［マイコンピュータ］を開き、［リムーバブルディスク］（＝カメラ）内から画像ファイルをパソコンにコピーする。P90

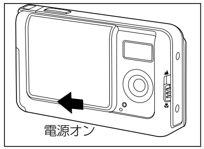
↓

3 カメラを取り外す P93

1 カメラとパソコンを接続する

USB接続時のご注意

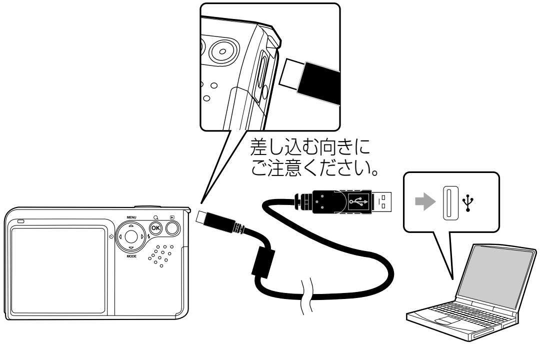
- カメラとパソコンを接続する場合は、電池残量が十分にあることを必ず確認してください。
パソコンとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、電池残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
接続中にカメラの電源がオフになると、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
- コピー（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- カメラを取り外すときは、必ず**カメラを取り外すときは** P93 に従って操作してください。

1 

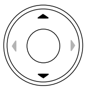
レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

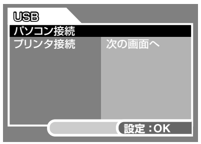
2 USBケーブル（付属）の大きいコネクタをパソコン本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。

［USB］メニュー（USB接続モードの選択画面）が表示されます。



3





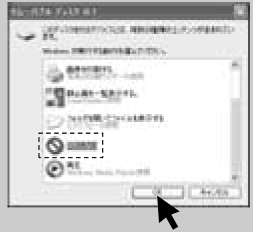
【▲】【▼】で［パソコン接続］を選び、



OKを押します。

液晶モニターが表示オフになります。

- 初回接続時は「新しいハードウェアが見つかりました」ウィザードが表示され、自動的にパソコンがカメラを認識する動作を行います。設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。
- 「新しいハードウェアの検索ウィザード」画面が表示された場合は、［次へ］をクリックし、画面の指示に従ってください。
「検索ウィザードの完了」画面が表示されたら、［完了］をクリックします。
- Windows XPをお使いで、［パソコン接続］を選んだ場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、［何もしない］を選び、［OK］をクリックします。



2 画像ファイルをパソコンにコピーする（リーダ／ライタ接続）

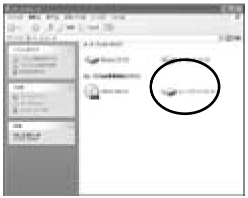
市販の画像編集ソフトなどを使って、画像ファイルを編集する場合は、以下の操作で画像ファイルを任意の場所（マイドキュメント内など）へコピーしてから行うことをおすすめします。

1

1 カメラとパソコンを接続する P87 に従い、カメラとパソコンを接続します。

液晶モニターが表示オフになり、カメラがリムーバブルディスクとして認識されます。

2

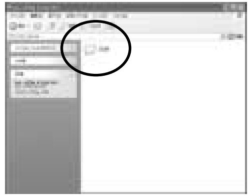


[マイコンピュータ] を開き、[リムーバブルディスク] をダブルクリックして開きます。

- [リムーバブルディスク] が表示されていない場合は、**故障とお考えになる前に** P107 をご覧ください。

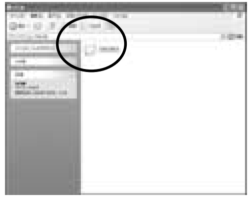
詳しいフォルダ構造については、**メモリ（SDメモリーカード）内のフォルダ構造** P118 をご覧ください。

3



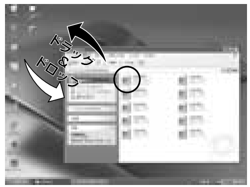
[DCIM] フォルダをダブルクリックして開きます。

4



[100_HCAM]（コピーしたい画像の入っている）フォルダをダブルクリックして開きます。

5



パソコンにコピーする（取り込む）画像ファイルをフォルダ内から選び、任意の場所（マイドキュメント内など）にドラッグ＆ドロップしてコピーします。

- 同様に任意の場所（マイコンピュータなど）から任意のデータを、フォルダ（カメラ）内にドラッグ＆ドロップしてコピーすることができます。

ドラッグ＆ドロップについて

マウスを使った操作法の一つで、マウス操作によってデータやファイルの移動を行うことです。
画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）ことです。

- コピー（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。
- フォルダ（カメラ）内にコピーしたデータは**フォーマットする** P83 操作を行うと、すべて消去されてしまいます。操作には十分ご注意ください。
- コピー先に同じファイル名の画像がある場合は、元の画像を上書きしてもよいか確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルは消去されます。

フォルダ名とファイル名のルール

フォルダ名とファイル名は以下のルールに従って、カメラが自動的に作成します。

フォルダ名について：
XXX_HCAM
フォルダの通し番号（100～999）

ファイル名について：
HIMGYYYY.jpg（動画ファイルは.avi）
ファイルの通し番号（0001～9999）

フォルダの通し番号はファイルの通し番号が9999を越えた際に一つあがります。

3 カメラを取り外すときは

カメラを取り外すときは、必ず以下の手順に従って操作してください。この操作を行なわずにカメラを取り外したり、USBケーブルを抜くと、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。

1 カメラを利用しているアプリケーションをすべて終了します。

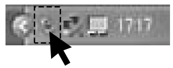
2 

タスクバー

タスクバー上の［ハードウェアの取り外し］アイコンをクリックし、取り外すドライブを選んで［停止します（取り外します）］をクリックします。

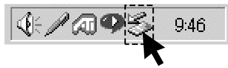
〈Windows XPの場合〉





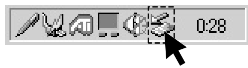
〈Windows 2000の場合〉





〈Windows Meの場合〉





- ［停止します（取り外します）］をクリックした際に、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラとパソコンが通信中でないことを確認し、カメラを取り外します。
- ［ハードウェアの取り外し］アイコンは、OSの設定によっては非表示になる場合があります。

3 「安全に取り外すことができます」ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

（Windows XPでは [OK] のクリックは不要です。）

4 カメラを取り外します。

プリント（印刷）編

PictBridgeに対応したプリンタに直接接続して、撮影した画像をプリントする方法について説明します。

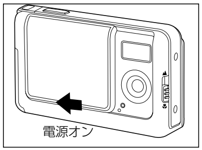
PictBridge（ピクトブリッジ）は
カメラ映像機器工業会（CIPA）
が制定した、デジタルカメラと
プリンタを直接接続して印刷
するための規格で、PictBridge
対応の機器同士はUSBケーブル
で接続して直接印刷を行なう
ことができます。

本製品は、USBケーブル（付属）を使って、PictBridgeに対応したプリンタに直接接続し、本機の液晶モニター上で、プリントする画像を選んだり、プリントの開始を指示することができます。

USB（PictBridge）接続時のご注意

- プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能を使用することはできません。
- カメラとプリンタを接続する場合は、電池残量が十分にあることを必ず確認してください。
  プリンタとの接続中は、オートパワーオフ機能などははたらきませんが、電池残量がなくなると、カメラは途中で電源がオフになります。
  接続中にカメラの電源がオフになると、パソコンが正常に動作しなくなったり、記録されているデータが破損する恐れがあります。
- プリント（通信）中はUSBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにしたりなど、カメラの操作をしないでください。記録されているデータが破損する恐れがあります。

1

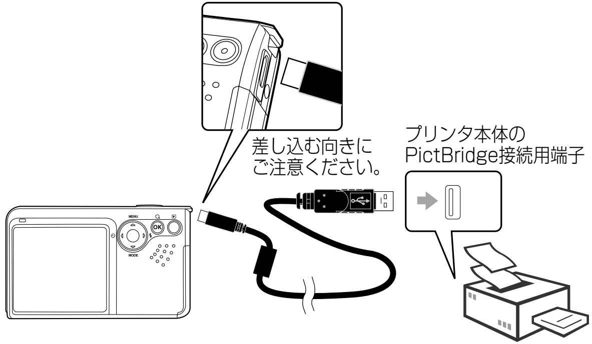


レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

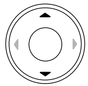
2

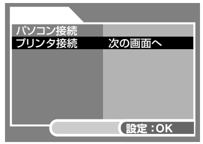
USBケーブル（付属）の大きいコネクタをプリンタ本体のUSBポートへ、小さいコネクタをカメラのUSB端子へしっかりと接続します。

［USB］メニュー（USB接続モードの選択画面）が表示されます。



3





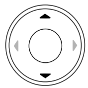
【▲】【▼】で［プリンタ接続］を選び、

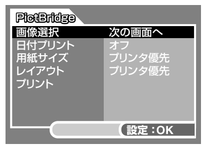


OKを押します。

［PictBridge］メニューが表示されます。

4





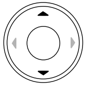
【▲】【▼】で設定したい項目を選び、

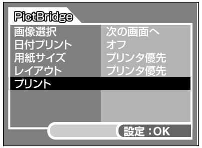


OKを押します。

プリント編

5





設定したい項目を設定したら、【▲】【▼】で[プリント]を選び、

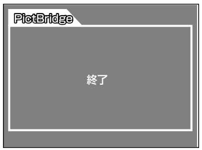




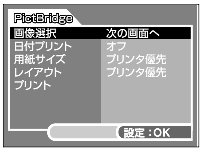
OKを押します。

"転送中…"と表示された後、"プリント中…"と表示され、プリントが開始されます。

「エラー」などの警告表示が表示された場合は、プリンタの状態（インク残量など）を再度確認してください。



プリントが終了すると、"終了" と表示され、[PictBridge] メニューに戻ります。



6 **プリントが終了したら、カメラの電源をオフにして、カメラを取り外します。**

[PictBridge] メニューで設定できる項目

メニュー項目	内　　容
画像選択	[1枚ずつ選ぶ]･･･プリントしたい画像やプリント枚数（0枚〜99枚）を1枚ずつ選びます。 [すべての画像]･･･すべての画像を1枚ずつプリントします。 [終了] **●プリントするために必ず設定する項目です。** **●動画像は選択できません。**
日付プリント	[オン]／[オフ]･･･日付プリントのオン／オフを設定します。 **●日付プリントの形式を設定することはできません。** **●プリンタが日付プリントに対応していない場合は、[オン] は表示されません。** **●日付プリントの設定は、プリンタ側の設定内容に関わらず、カメラ側の設定内容が優先されます。**
用紙サイズ	[プリンタ優先]･･･プリンタの設定が優先されます。 [1L] 89mm×127mm／[2L]127mm×178mm [A4] 210mm×297mm [4″x6″] 101.6mm×152.4mm [8″x10″] 203.2mm×254mm [10x15cm] 100×150mm [カード] 54mm×85.6mm [レター] 216mm×279.4mm [ポストカード] 100mm×148mm **●プリンタが対応しているサイズのみ表示されます。**
レイアウト	[プリンタ優先]･･･プリンタの設定が優先されます。 [フチなし]／[フチあり] [インデックス] [2面] [4面] **●プリンタが対応しているサイズのみ表示されます。**

付録

■ 故障とお考えになる前に ―― 102
■ 仕様 ―― 114
■ メニュー項目と設定内容 ―― 116
■ メモリ（メモリーカード）内のフォルダ構造 ―― 118
■ サービス／ご相談窓口 ―― 121
■ クイックスタートガイド ―― 122

付録

■ 故障とお考えになる前に

電池・電源

症状	原因	処置
電源がオンにならない。	●レンズカバーの開閉動作がはやすぎた。	→もう一度ゆっくりと開閉動作を行う。P26
	●電池が正しく入っていない。	→電池を正しく入れる。P24
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P24
	●内部システムなどの誤動作。	→電池を5秒以上取り外し、もう一度電池を正しく入れてから、開閉動作を行う。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使用している。	—
	●高解像度、ストロボ撮影を多用している。	—
	●再生モードを多用してる。	—
	●本パッケージに同梱されている電池は、最初に基本操作を確認頂くために同梱しているものです。実際に撮影される場合は、市販の単3形アルカリ乾電池もしくは単3形ニッケル水素電池をご使用ください。	—

症状	原因	処置
電源が途中でオフになる。	●オートパワーオフ機能 P27 がはたらいた。	→レンズカバーを閉め、もう一度開けて、電源をオンにする。P26 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P57
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P24

静止画・動画を撮る

症状	原因	処置
液晶モニターに被写体が写らない。	●再生モードになっている。	→▶を押して、撮影モードに切り替える。P18
	●電源がオフになっている。	→電源をオンにする。P26
	●暗いところで撮影している。	→なるべく明るい場所で撮影する。
撮影できない	●画像記録中・ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	→動作確認用ランプが点滅している状態で撮影する。
	●静止画撮影時、動画撮影モードになっている。	→【▼】(MODE)を押して、静止画撮影モードに切り替える。P17
	●静止画撮影時、再生モードになっている。	→▶を押して、撮影モードに切り替える。P18

症状	原因	処置
撮影できない。	●動画撮影時、静止画撮影モードになっている。	→【▼】(MODE)を押して、動画撮影モードに切り替える。P17
	●動画撮影時、再生モードになっている。	→▶を押して、撮影モードに切り替える。P18
	●オートパワーオフ機能 P27 がはたらき、電源がオフになった。	→レンズカバーを閉め、もう一度開けて、電源をオンにする。P26 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P57
	●メモリ残量がない。	→内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P47 か、別のSDメモリーカードと交換する P30 。
	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。(液晶モニターに「カードプロテクト!」が表示)	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P31
	●SDメモリーカードのフォーマットが本機のフォーマット以外または「FAT」以外のフォーマットになっている。	→データをバックアップ後、SDメモリーカードを本機でフォーマットする。P83

症状	原因	処置
ストロボ撮影ができない。	●ストロボモードが 発光禁止モードになっている。	→ストロボモードをオートもしくは発光モードにする。
	●近距離モードになっている。	→標準モードに切り替えて P39 、再度ストロボ発光モードを選択する。
	●電池残量が少ない場合は、ストロボ発光モードを選んでいても、ストロボを発光しない場合があります。	→新しい電池と交換する。P24
	●被写体が明るい。	—
ストロボ撮影したのに、撮影画像が暗い。	●被写体が遠い。	→ストロボ連動範囲(約60cm〜約250cm)で撮影する。
ストロボ撮影したら、撮影画像が白くなる。	●ストロボ連動範囲より被写体が近い。	→ストロボ連動範囲(約60cm〜約250cm)で撮影する。
撮影画像がぼやけている。	●レンズに指がかかっている。	→レンズに指がかからないようにカメラを正しく構える。
	●近距離モードで遠景を撮影している。	→標準モード(約100cm〜∞)に切り替える。
	●被写体が近すぎる。	→撮影可能範囲(近距離時:約60cm〜約100cm、標準時:約100cm〜∞)で撮影する。
	●レンズが汚れている。	→レンズをメンテナンスする。
	●画像ブレ・手ブレ	→手ぶれ軽減モード P35 で撮影する。 →しっかりとカメラを固定(三脚を使うなど)して撮影する。

症状	原因	処置
画像にノイズがある。	●パソコンの近くや電磁波の強い場所で撮影している。	—
	●手ぶれ軽減モード P35 で撮影している。	—
動画撮影時に撮影が途中でストップする。	●撮影に必要なメモリ残量がない。	→内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P47 か、別のSDメモリーカードと交換する P30 。
静止画／動画が見れるのに撮影できない。	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P24
内蔵フラッシュメモリー(16MB)に記録できない。	●SDメモリーカードが装着されている。	→電源をオフにしてSDメモリーカードを外す。P30

静止画／動画を見る

症状	原因	処置
再生できない。	●再生モードになっていない。	→▶を押して、再生モードに切り替える。P18
	●他のデジタルカメラで撮影した画像や、パソコンで名前を変更したり、加工した画像は本機で再生できない場合があります。	

画像を消去する

症状	原因	処置
消去できない。	●SDメモリーカードのライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチが「LOCK」になっている。（液晶モニターに「カードプロテクト！」が表示）	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P31
誤って消去してしまった。	●一度消去したファイルは元に戻せません。	—

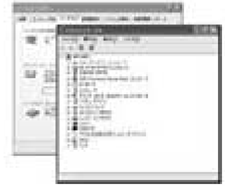
画像ファイルをパソコンにコピーする

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。（［リムーバブルディスク］が表示されないなど）	●付属のUSBケーブルを使用していない。	→付属のUSBケーブルを使う。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いてもう一度しっかりと接続する。P88 →他のUSBポートに接続する。
	●パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている。	→キーボード／マウス以外は取り外す。

症状	原因	処置
カメラがパソコンに認識されない。([リムーバブルディスク]が表示されないなど)	●パソコンのUSB機能が有効になっていない。[デバイスマネージャ]を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認してください。	→[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]が表示されていないときは、USB機能は無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。 →[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]に黄色い「！」や赤い「×」マークが付いているときは、USB機能は動作していません。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照の上、有効に設定してください。
USB接続してもカメラの電源がオフになる。	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→パソコンとカメラからケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。 →他のUSBポートに接続する。
	●カメラとパソコンをUSBハブ経由で接続している。	→USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続する。
カメラを取り外したときに、警告メッセージが表示された。	●通信中にカメラを取り外した。	→内部のデータが破損する恐れがあります。必ずカメラとパソコンが通信していないことを確認してから、カメラを取り外してください。
	●「カメラを取り外す」操作を行わないでカメラを取り外した。	→「カメラを取り外すときは」に従って操作する。

〈デバイスマネージャ〉

[デバイスマネージャ]は、[マイコンピュータ]から右クリックで[プロパティ]を選ぶか、[コントロールパネル]から[システム]をダブルクリックして、[システムのプロパティ]から開きます。



PictBridge対応プリンタでプリントする

症状	原因	処置
プリンタと接続できない。(認識しない、[プリンタ接続]メニューが表示されないなど)プリントできない。	●プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能は使用できません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
	●プリンタの電源がオフになっている。	→プリンタの電源をオンにする。
	●[USB]メニューで、[パソコン接続]を選んでいる。	→再度接続し直し、[プリント接続]を選ぶ。
	●接続状態によっては、接続が確立できない場合があります。(システムの誤動作など)	→USBケーブルを抜いて、接続し直す。プリンタにエラーが表示されている場合は、プリンタの取扱説明書をご参照ください。
プリントが途中で中断する。(上手くプリントされないなど)	●プリンタがPictBridgeに対応していない場合は、本機能は使用できません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
	●USBケーブルが正しく接続されていない。	→プリンタとカメラからUSBケーブルを抜いて、もう一度しっかりと接続する。 P97
	●プリンタのPictBrige接続用端子に接続されていない。	→PictBridge接続用端子に接続する。詳しくはプリンタの取扱説明書をご参照ください。

症状	原因	処置
プリントが途中で中断する。（上手くプリントされないなど）。	●プリンタの電源がオフになっている。	→プリンタの電源をオンにする。
	●プリンタ側がPictBridge機能を使用する準備ができてきない。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
	●プリンタが何らかのエラーを起こしている。（液晶モニターにエラーメッセージが表示）	→接続しているプリンタの状態を確認する。（プリンタのインクが消耗している場合でも正常にプリントされない場合があります。）
	●プリント中にカメラの電源をオフにした。	→USBケーブルを抜いて、接続し直す。それでも復帰しない場合は、USBケーブルをもう一度抜いて、プリンタの電源を入れ直してから再度接続し直してください。
日付プリントができない。	●プリントが終了する前に、USBケーブルを抜いたり、カメラの電源をオフにすると、プリントが正しく終了しない場合があります。	—
	●プリンタが日付プリントに対応していない場合は、日付プリントできません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。または、撮影画像に焼き付けるカメラの日付プリント機能でお試しください。
	●印刷可能な撮影日時情報が入っていない画像ファイルは、日付のプリントはできません。	—

症状	原因	処置
カメラの日付プリントを[オン]にして撮影したのに、日付がプリントされない。	●日付プリント機能で、日付が焼き付けられている位置より、プリンタの印刷範囲が内側にある場合、日付がプリントされません。	→プリンタ側の日付プリント機能でお試しください。（撮影画像に記録されている日付情報を読み込んでプリントする機能）
フチなしや2面、4面プリントができない（選択できない）。	●プリンタが、フチなし、2面、4面プリントに対応していない場合は、フチなし、2面、4面プリントできません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
プリントしたい用紙サイズが選択できない。	●プリンタが指定した用紙サイズに対応していない場合は、選択できません。	→詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。
プリントを中止すると他の操作ができない。	●プリンタが印刷中止を処理しているので、完了するまでお待ちください。（プリンタによって時間がかかる場合があります。）	—

その他

症状	原因	処置
表示言語が英語になっている。	●[表示言語(Language)]が[English]なっている。	→[表示言語]を[日本語]に切り替える。P54
液晶モニターに黒い点が現れる。または、白や赤、青、緑の点が消えない。	●液晶の性質による現象	→故障ではありません。液晶モニターのみに現れるもので、記録されません。
カメラの操作ができない。(動作確認用ランプが消灯、または点灯したままなど)	●内部システムやメモリーカードなどの誤動作	→電池を取り外し、しばらく放置してから電池を入れ直す。 →SDメモリーカードをカメラから取り出し、もう一度しっかりと入れる。 →別のSDメモリーカードと交換し、確認する。 →お買い上げの販売店へご相談ください。
	●電池が消耗している。	→新しい電池と交換する。P24
液晶モニターが突然オフになる。	●オートパワーオフ機能がはたらいた。	→レンズカバーを閉め、もう一度開けて、電源をオンにする。P26 →オートパワーオフ時間の設定を変更する。P57
SDメモリーカードが突然使えなくなった。	●静電気等の外部からのノイズによる現象	→再度、フォーマットしてください。P83
日付プリントが重複する。	●日付プリントの設定を[オン]にして撮影した画像をプリンタ側の日付プリントを[オン]にしてプリントした。	→プリンタ側の日付プリントを[オフ]にして印刷する。P99 →詳しくはプリンタの取扱説明書で確認してください。

警告表示など

表示	原因	処置
カードロック!	●SDメモリーカードのライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチが「LOCK」になっている。	→SDメモリーカードの「書き込み禁止」を解除する。P31
プロテクトされています!	●画像プロテクトが設定されている。	→画像プロテクトの設定を解除する。
メモリ残量がありません。	●メモリ残量がない。	→画像サイズを小さくする。 →内蔵メモリーまたはSDメモリーカード内の画像を消去する P47 か、別のSDメモリーカードと交換する P30 。
画像がありません。	●再生できる画像ファイルが入っていない。	→本機で撮影する。
用紙エラー!	●接続しているプリンタが、用紙切れエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態を確認する。
インクエラー!	●接続しているプリンタが、インク切れエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態を確認する。
紙詰まり	●接続しているプリンタが、紙詰まりエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態を確認する。
プリントエラー!	●接続しているプリンタが、何らかのエラーを起こしている。	→接続しているプリンタの状態(用紙関連やインク関連を含む)を確認する。 →プリントしたい画像が壊れていないか確認する。

■ 仕様

有効画素数		約500万画素
撮像素子		1/2.5インチCCDイメージセンサー （総画素数：約505万画素）
記録媒体		SDメモリーカード（32/64/128/256/512MB/1GB）（※1）、内蔵16MBフラッシュメモリー（※2）
静止画	記録画像ファイルフォーマット	JPEG準拠（DCF1.0、EXIF2.2準拠）
	記録画素数	2560×1920ピクセル（約500万画素） 2048×1536ピクセル（約310万画素） 1280×960ピクセル（約120万画素） 640×480ピクセル（約30万画素）
	JPEG圧縮率	ファイン（低圧縮（1/4）モード） スタンダード（標準圧縮（1/8）モード） エコノミー（高圧縮（1/12）モード）
動画	記録画像ファイルフォーマット	AVI（Motion JPEG、音声なし）
	記録画素数	320×240ピクセル
	フレームレート	30フレーム/秒
レンズ	構成	6群6枚
	焦点距離	f=6.95mm（35mmフィルム換算：約42mm）
	F値（最大値）	F3.3（W）
焦点調節		固定焦点方式
ズーム		デジタル4倍ズーム
液晶モニター		2.0型低温ポリシリコン（LTPS）TFTカラー液晶 約15.4万画素（640×240ピクセル）
撮影可能範囲		標準：約100cm〜∞、近距離：約60cm〜約100cm
シャッター		電子シャッター、1〜1/1500秒（オート）
撮像感度		オート／ISO50／100／200／400
測光方式		中央部重点平均測光（64ポイント測光）
露出	制御方式	プログラムAE
	補正	−2.0EV〜+2.0EV（1/3EVステップ）
ホワイトバランス		オート／プリセット（晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯）
ストロボ	連動範囲（推奨）	約60cm〜約250cm
	発光モード	オート／強制発光／発光禁止／赤目軽減
セルフタイマー		2秒／10秒／10秒+2秒
撮影モード		シングル（通常）撮影、動画撮影
再生モード		シングル（通常）再生、ズーム再生（最大4倍、0.5倍ステップ）、インデックス再生（9分割）、 スライドショー再生、動画再生
ダイレクトプリント		PictBridge対応
オートパワーオフ		1分間／3分間／5分間／オフ
インターフェース		USB端子（USB（1.1仕様））
電源		単3形乾電池2本（アルカリ乾電池／ニッケル水素電池（別売））
外形寸法		幅91×奥行27.9×高さ55.5mm（突起部含む）
質量		約85g（電池、付属品除く）
使用条件		0℃〜40℃、湿度90%以下（結露しないこと）

（※1）SDメモリーカードは別売です。（株）アイ・オー・データ機器、（株）ハギワラシスコム、（株）アドテックのSDメモリーカードを推奨します。
（※2）内蔵フラッシュメモリーは一部プログラムファイルが格納されているため、記憶可能領域は約14MBです。

画像記録枚数・時間／データサイズ（※3）

記録画素数（ピクセル）	JPEG圧縮率	1コマのデータサイズ	内蔵16MBフラッシュメモリー	SDメモリーカード64MB（別売）
2560×1920（約500万画素）	ファイン	約2,320KB	約6枚	約33枚
	スタンダード	約1,265KB	約11枚	約56枚
	エコノミー	約663KB	約21枚	約108枚
2048×1536（約310万画素）	ファイン	約1,740KB	約8枚	約43枚
	スタンダード	約994KB	約14枚	約73枚
	エコノミー	約497KB	約28枚	約141枚
1280×960（120万画素）	ファイン	約773KB	約18枚	約89枚
	スタンダード	約464KB	約30枚	約150枚
	エコノミー	約240KB	約58枚	約289枚
640×480（約30万画素）	ファイン	約324KB	約43枚	約215枚
	スタンダード	約193KB	約72枚	約360枚
	エコノミー	約99KB	約140枚	約694枚
320×240【動画】	—	約480KB/秒	約29秒	約129秒

（※3）画像記録枚数・時間及びデータサイズはあくまでも目安であり、被写体や撮影条件によって異なります。

電池寿命の目安（※4）

使用電池	撮影可能枚数CIPA（※5）	再生時間（※6）
単3形アルカリ乾電池LR6（付属）	約120枚	約200分

（※4）温度23℃／湿度50%、液晶モニターオン、SDメモリーカード使用、未使用電池を使用し、以下の条件で撮影・再生した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証撮影枚数・時間ではありません。ご使用の状況や環境によって少ない数値になる場合があります。
（※5）CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による撮影条件
- 30秒間隔でズームのワイド端（広角側）とテレ端（望遠側）で交互に撮影、ストロボを2回に1回発光
- 10枚撮影ごとに電源をオフにし、10分間放置

（※6）約3秒１コマを連続で再生した場合
- 5分再生ごとに電源をオフにし、3.5分間放置

■ メニューと設定項目

【　　】：初期設定

動作モード	メニュー	設定項目		設定内容
静止画撮影モード	撮影メニュー	画像サイズ	P60	【2560×1920】／2048×1536／1280×960／640×480
		画質	P60	ファイン／【スタンダード】／エコノミー
		シーン	P64	【オート】／スポーツ／夜景／人物／風景／逆光
		露出補正	P66	−2／−1.7／−1.3／−1／−0.7／−0.3／【0】／0.3／0.7／1／1.3／1.7／2 (EV)
		Wバランス	P67	【オート】／晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯
		ISO感度	P68	【オート】／50／100／200／400
		色効果	P69	【スタンダード】／ビビット／セピア／白黒
		彩度	P70	高／【中】／低
		シャープネス	P71	高／【中】／低
		プレビュー	P59	【オン】／オフ
		日付プリント	P74	オン／【オフ】
	設定メニュー	日付／時刻	P28	日付／時刻の設定画面を表示します。
		フォーマット	P83	内蔵メモリー、SDメモリーカードをフォーマットします。
		操作音	P56	【オン】／オフ
		表示言語	P54	【日本語】／English (英語)／繁體中文 (中国語1)／简体中文 (中国語2)
		オートオフ	P57	【1分】／3分／5分／オフ
		初期設定に戻す	P32	各設定内容を初期設定に戻します。
動画撮影モード	撮影メニュー	露出補正	P66	−2／−1.5／−1／−0.5／【0】／0.5／1／1.5／2 (EV)
		Wバランス	P67	【オート】／晴天／曇天／白熱灯／蛍光灯
	設定メニュー	日付／時刻	P28	日付／時刻の設定画面を表示します。
		フォーマット	P83	内蔵メモリー、SDメモリーカードをフォーマットします。
		操作音	P56	【オン】／オフ
		表示言語	P54	【日本語】／English (英語)／繁體中文 (中国語1)／简体中文 (中国語2)
		オートオフ	P57	【1分】／3分／5分／オフ
		初期設定に戻す	P32	各設定内容を初期設定に戻します。

動作モード	メニュー	設定項目		設定内容
再生モード	再生メニュー	消去	P47	画像を消去します。
		カードへコピー	P75	内蔵メモリーからSDメモリーカードへ画像をコピーします。
		スライドショー	P77	スライドショー再生を開始します。
		画像プロテクト	P79	画像プロテクトを設定します。
		選んで再生	P45	インデックス再生をします。
	設定メニュー	日付／時刻	P28	日付／時刻の設定画面を表示します。
		フォーマット	P83	内蔵メモリー、SDメモリーカードをフォーマットします。
		操作音	P56	【オン】／オフ
		表示言語	P54	【日本語】／English (英語)／繁體中文 (中国語1)／简体中文 (中国語2)
		オートオフ	P57	【1分】／3分／5分／オフ
		初期設定に戻す	P32	各設定内容を初期設定に戻します。

■ メモリ(SDメモリーカード)内のフォルダ構造

- DCIM ―― [DCIM] フォルダ･･･撮影した画像が記録されるフォルダです。
  - 100_HCAM ―― 記録フォルダ
    - HIMG0001.jpg ―― 静止画像ファイル
    - HIMG0002.avi ―― 動画像ファイル
    - HIMG0003.jpg ―― 静止画像ファイル
    - ・
    - ・
    - ・
  - 101_HCAM ―― 記録フォルダ（※1）
  - 102_HCAM ―― 記録フォルダ（※1）
  - ・
  - ・
  - ・

（※1）内蔵メモリからSDメモリーカードにコピーする操作を行った場合や、ファイルの通し番号が9999を超えた場合に作成されます。

メ　モ

メ　モ

日立家電品についてのご相談や修理は お買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は
下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL　0120−3121−68
FAX　0120−3121−87

（受付時間）365日／9:00〜19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL　0120−8802−28
FAX　03−3260−9739

（受付時間）9:00〜17:30／携帯電話、PHSからもご利用できます。土曜・日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

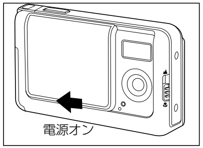
株式会社日立リビングサプライ：ホームページアドレス

http://www.hitachi-ls.co.jp/

撮影する
詳しくは**静止画を撮る** P34 をご覧ください。

- 電源をオンにする前に、**電池を入れる** P24 に従って、電池を挿入してください。
- SDメモリーカードを使う場合は、**SDメモリーカードを使う場合** P30 に従って、電源をオンにする前にSDメモリーカードを挿入してください。SDメモリーカードは別売です。
- 初めてお使いになる場合や、電池をはずして長時間保管されていた場合などは内部時計がリセットされ、正しい日付／時刻が表示されない場合があります。
  その場合や一度設定した内容を合わせ直す場合は、**日付／時刻を合わせる** P28 の手順で日付／時刻を設定してください。

1



レンズカバーをゆっくりと開いて電源をオンにします。

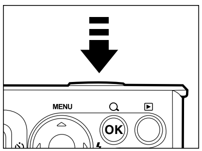
2

両手でカメラを構え、被写体が液晶モニターに収まるように、構図を決めます。

3



被写体をフォーカスフレームに合わせ



シャッターボタンを押します。

シャッターがきれます。

撮影した画像を見る
詳しくは**静止画／動画を見る** P43 をご覧ください。

撮影した静止画や動画は液晶モニターで再生できます。再生方法には、シングル再生の他に、ズーム再生（1.5倍～4倍（0.5ステップ））、P44 インデックス再生（9分割） P45 、スライドショー再生 P77 、動画再生 P46 があります。

1

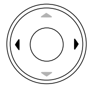




▶を押して再生モードに切り替えます。

最後に撮影された画像が表示されます。（シングル再生）

2



【◀】【▶】で画像を選びます。

